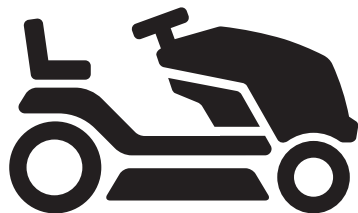




 **Husqvarna**[®]



TS 248TXD

目次

はじめに.....	2	搬送、保管、廃棄.....	35
安全性.....	5	保管.....	36
組立.....	10	廃棄.....	36
Operation（動作）.....	12	主要諸元.....	37
メンテナンス.....	16	サービス.....	38
トラブルシューティング.....	30	付録.....	39

はじめに

納入前点検および製品番号

注記： この製品は納入前点検済みです。販売店の署名済み納入前点検ドキュメントのコピーを必ず受け取ってください。

サービス代理店お問い合わせ情報：	
この取扱説明書は、次の製造番号/号機番号の製品に適合しています。	
/	
エンジン：	
トランスミッション：	

製品の説明

本製品は、フロントアクスルとリアアクスル間にカッティングデッキを搭載した芝生用トラクターです。ガソリン駆動の4ストロークエンジンを搭載しています。

オプションのアクセサリー：

- グラスキャッチャー
- マルチプラグ

用途

本製品は、ご家庭の庭や庭の斜面（15度以下）の芝を刈る目的のみ使用してください。公共の公園やスポーツ施設、農業や林業の目的に使用しないでください。メーカーによって認可されたアクセサリーのみを使用して、本製品を使用してください。

異なる方法での本製品の使用は、不正使用となります。不正使用によって保証が無効になり、第三者の使用者の損傷に対するメーカーの責任は拒否されます。

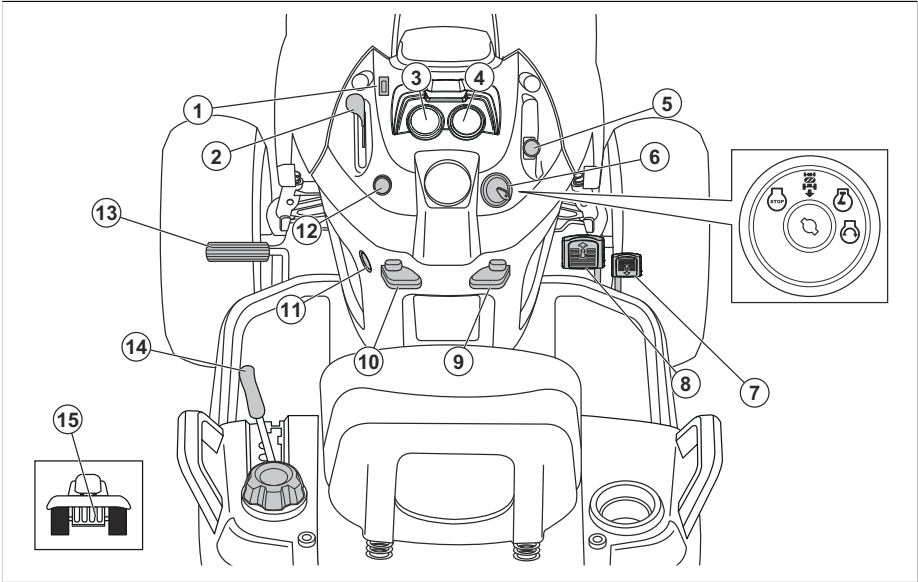
芝刈機の操作については、地域の規制を参照してください。

サポート／ヘルプ

お使いの製品の用途、操作、メンテナンス、部品についてサポートが必要な場合、またはご質問がある場合は、下記までお問い合わせください。

- Web サイト：www.husqvarna.com
- フリーダイヤル：1-800-487-5951

製品の概要



- 1. ライトスイッチ
- 2. スロットルコントロール
- 3. アワーメーター
- 4. アンペアメーター
- 5. アタッチメントクラッチコントロール
- 6. イグニションスイッチ
- 7. 後退ペダル
- 8. 前進ペダル
- 9. クルーズコントロールレバー
- 10. 駐車ブレーキレバー
- 11. 12V 電源出力
- 12. チョークコントロール
- 13. ブレーキペダル
- 14. アタッチメントリフトレバー
- 15. フリーホイールレバー

製品に表記されるシンボルマーク



警告！十分に注意し、本製品を正しく使用してください。本製品により、作業者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。



注意：誤った使用により、本製品や所有物を損傷するおそれがあります。



本製品を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みになり、指示内容をよく理解してください。

R

後退。

N

ニュートラル。

H

高。

L

低。



チョーク



高速。



低速。



イグニッションスイッチ。



エンジンオフ。



エンジン始動。



エンジンオン。



ディファレンシャルロック。



ブレーキおよびクラッチペダル。



駐車ブレーキ。



刈高。



カッティングデッキリフト。



後退操作システム (ROS)。



後退。



前進。



点灯。



バッテリー



ブレードの嵌合解除。



ブレードの嵌合。



危険、この部分に手や足を近づけないでください。



燃料。



イヤマフ装着を推奨します。



前進時は、作業範囲に何もないことを確認してください。



人（特に子供）や動物が近くにいる際は、本製品を使用しないでください。



勾配注意。15 度を超える斜面では、本製品を直進で登坂させないでください。



勾配注意。斜面では、水平に運転しないでください。



勾配注意。15°を超える斜面では、本製品を直進で降坂させないでください。



高温表面シンボルは、従わない場合、死亡、重傷、損傷の原因となる危険性を示しています。



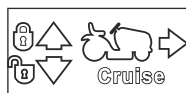
火災シンボルは、従わない場合、死亡、重傷、損傷の原因となる危険性を示しています。



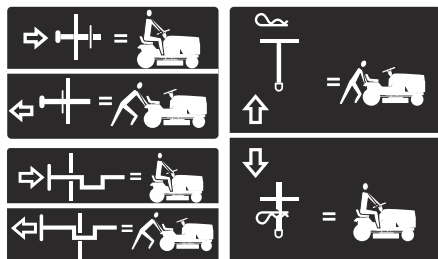
環境に対する騒音ラベルは、EU と英国の指令および規制、ニューサウスウェールズ州の法規「Protection of the Environment Operations (Noise Control) Regulation 2017」に準拠しています。本製品の保証音響レベルは、ラベルに記載されています。



本製品は RCM 指令適合製品です。オーストラリア／ニュージーランドのみ対象。



クルーズコントロール。



フリーホイール（自動モデルのみ）。

アワーメーター

アワーメーターにはエンジンの作動時間が表示されます。アワーメーターの位置については、「製品の概要 3 ページ」を参照してください。

50 時間ごとに、オイルレベルのシンボルが 2 時間表示されます。参照：エンジンオイルを交換するには 28 ページ。

アワーメーターを手動でリセットするには、スタータキーを「ON」位置に回してから「STOP」位置まで回す操作を 5 回繰り返します。

注記：アワーメーターは、スタータキーが「STOP」位置にある場合にのみ停止します。エンジン停止時は、スタータキーが「STOP」位置にあることを確認してください。

製造物責任

製造物責任法に基づき、当社は、次の場合については本製品を原因とする損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリー、またはメーカーの認可していないアクセサリーを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定機関で本製品が修理されていない場合。

安全性

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告：取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意：取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記：特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

乗用芝刈機の安全な使用方法



警告：本製品は、手足を切断することや、物体を飛ばすことがあります。安全注意事項に従わないと、重傷または死亡事故の原因となる可能性があります。



警告：セットアップ、搬送、調整、修理時に誤って始動することがないように、必ずスパークプラグワイヤーを外し、スパークプラグに接触しない場所にワイヤーを配置してください。



警告：ニュートラルで下り斜面を走行しないでください。トラクターのコントロールがきかなくなる可能性があります。



警告：お使いのトラクターメーカーが推奨する、仕様に適合したアタッチメントのみを牽引してください。牽引する場合は常識に従ってください。斜面では、可能な限り低速で運転してください。斜面では、重すぎる負荷は危険です。タイヤがトラクションを失い、トラクターのコントロールが効かなくなるおそれがあります。



警告：エンジンからの排気、その含有物の一部、および本機の特定の部品には、カリフォルニア州の「がん、先天性欠損症、その他の生殖危害を引き起こすおそれがある化学物質」に指定された物質が含まれており、排出されます。



警告：バッテリーポスト、端子、および関連アクセサリには、カリフォルニア州の「がん、先天性欠損症、その他の生殖危害を引き起こすおそれがある化学物質」に指定された鉛および鉛化合物、化学物質が含まれています。使用後は手を洗ってください。

I. 子供



警告：子供はこの装置によって怪我をするおそれがあります。米国小児科学会は、歩行制御芝刈機の操作は 12 才以上、乗用芝刈機の操作は 16 才以上が行うことを推奨しています。



警告：子供はこの装置によって重傷を負ったり、死亡したりするおそれがあります。以下の安全注意事項をすべてよく読み、遵守してください。

作業者が子供の存在に注意を払わないと、重大な事故を引き起こすおそれがあります。子供は機械類や芝刈り作業に関心を示す傾向があります。最後に見た場所に子供がずっと留まっているとは思えないでください。

- 子供を芝刈り範囲から遠ざけ、オペレータ以外の責任ある大人が注意を払ってください。
- 注意を払い、子供がこの範囲内に入った場合は、本機をオフにしてください。
- 後退前と後退中は後ろと下に注意し、小さな子供がいなかったことを確認してください。
- ブレードが停止している状態でも、決して子供を乗せないでください。落下して重傷を負ったり、本機の安全な運転を妨げたりする可能性があります。過去に乗ったことのある子供は、もう一度乗ろうと芝刈り範囲に突然現れ、本機の前進または後進時に下敷きになるおそれがあります。
- 子供に本機を操作させないでください。

- 死角、低木、樹木、その他の障害物に遮られて子供が見えない場合があるため、これらに接近する際は十分に注意してください。

II. 作業全般

- 作業開始前に、本機および取扱説明書に記載されたすべての指示を読み、内容を理解し、それに従ってください。
- 回転部品の近くや本製品の下に手や足を置かないでください。いかなるときでも排出口に近づかないようにしてください。
- 取扱方法に精通した責任ある大人のみが本機を操作してください。
- ブレードによって拾われたり飛び散ったりするおそれのある、岩、玩具、ワイヤーなどの障害物を作業範囲から取り除いてください。
- 運転前に、作業範囲に人がいないことを確認してください。誰かが作業範囲に入ってきた場合は、本機を停止してください。
- 人を乗せないでください。
- どうしても必要でない限り、後退での芝刈りはしないでください。後退する前および後退中には、必ず下方と後方に注意を払ってください。
- 排出物を決して人に向けてしないでください。壁や障害物に向けて排出することも避けてください。排出物がオペレータに跳ね返る場合があります。砂利が敷かれた地面を横切るときは、ブレードを停止してください。
- 必ず、グラスキャッチャー全体、排出口、その他の安全装置を装着し、作動を確認してから本機を操作してください。
- 旋回する前に減速してください。
- 決して作動中の本機を無人状態にしないでください。取り外す前に、必ずブレードをオフにし、駐車ブレーキをかけて、エンジンを停止してください。
- 芝刈りをしないときは、ブレードを外してください。本機を清掃したり、グラスキャッチャーを取り外したり、排出口の詰まりを除去したりする場合は、エンジンを停止し、すべての部品が完全に停止するのを待ってください。
- 日光または十分な人工光のもとで本機を操作してください。
- アルコールや薬物の影響を受けているときは、本機を操作しないでください。
- 道路の近くや横断時には、車に注意してください。
- 本機をトレーラーやトラックに積み下ろしする際は、十分に注意してください。
- 本機を操作するときは、必ず防護メガネを着用してください。
- 聴覚に障害を受けないよう、イヤマフを使用してください。
- 芝刈機が関係する負傷の大半が、60 歳以上の作業業者によるものというデータがあります。このような作業業者は、芝刈機に乗って安全に操作できる十分な能力があるかどうかを評価して、自身や他の人を重傷から守る必要があります。

- ・ ホイールウェイトまたはカウンターウェイトについては、メーカーの推奨事項に従ってください。
- ・ 本機に草、葉、その他の異物が付着していない状態を保ってください。これらが高温の排気部分やエンジン部品に接触して、燃えるおそれがあります。芝刈機デッキで葉や他の異物を鋤かないでください。異物が堆積するおそれがあります。本機を操作または保管する前に、こぼれたオイルや燃料をきれいに拭き取ってください。保管する前に本機を冷ましてください。

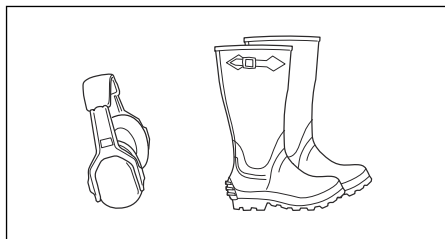
操作のための安全注意事項

使用者の身体保護具



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示を読んでください。

- ・ 本製品を使用するときは、認可された身体防護具を必ず着用してください。身体防護具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。適切な防護具の選択については、販売店にご相談ください。
- ・ 認可されたイヤマフを常に着用してください。長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。
- ・ プロテクティブシューズまたはプロテクティブブーツを常に着用してください。鋼鉄芯のものをお勧めします。裸足で製品を使用しないでください。



- ・ カutting装置の取り付け、点検、清掃の場合など、必要な場合は保護手袋を着用してください。
- ・ 袖締まりのルーズな服や宝飾品、その他稼働部に絡まるおそれがあるものは、身に着けないでください。
- ・ 救急器具や消火器を近くに準備するようにしてください。

本製品の安全装置



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示を読んでください。

- ・ 安全装置に欠陥のある製品は使用しないでください。安全装置は定期的に点検してください。

安全装置に欠陥がある場合は、ハスクバーナサービス代理店にご相談ください。

- ・ 安全装置は改造しないでください。保護プレートや保護カバー、安全スイッチ、その他の保護装置が取り付けられていない、または故障しているときは、本製品を使用しないでください。

オペレータ着座コントロール (OPC) の点検



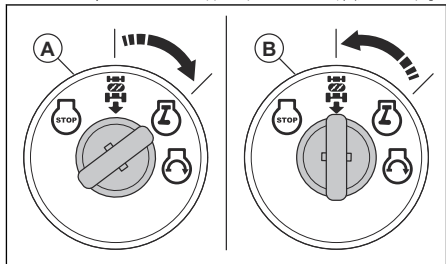
警告： オペレータ着座コントロール (OPC) に不具合がある場合は、本製品を操作しないでください。OPC に不具合がある場合は、直ちに修理してください。販売店にご相談ください。

- ・ ブレーキペダルを完全に踏み込み、カuttingデッキが解除されている場合にのみ、エンジンが始動することを確認します。
- ・ 駐車ブレーキを解除した際にオペレータがシートから離れると、エンジンが停止することを確認します。
- ・ カuttingデッキの作動中にオペレータがシートから離れると、エンジンが停止することを確認します。
- ・ オペレータがシートから離れると、カuttingデッキのクラッチコントロールを操作できないことを確認します。

後退操作システム (ROS) の点検

後退操作システムが正常に作動しない場合は、直ちに本製品を修理してください。販売店にご相談ください。

1. 本製品を始動します。参照： 本製品の始動方法 12 ページ。
2. カuttingデッキを作動させます。参照： カuttingデッキの作動／解除方法 15 ページ。
3. スタータキーが「ON」位置 (A) の状態で後退させると、エンジンが停止することを確認します。



4. 本製品を始動し、カuttingデッキを再度、作動させます。
5. スタータキーを ROS 「ON」 位置 (B) に回します。
6. スタータキーが ROS 「ON」 位置の状態の後退しても、エンジンが停止しないことを確認します。

ブレーキの点検



警告： 平坦かつ乾燥した場所で、最高ギアおよび最高速度で本製品が停止するまでに 5 フィート (1.5 m) 以上必要な場合は、ブレーキのメンテナンスが必要です。

1. 本製品を平坦で乾燥したコンクリートまたは舗装面に駐車します。ブレーキペダルを完全に踏み込み、駐車ブレーキをかけます。
2. フリーホイールコントロールを「トランスミッション解除」位置に設定し、トランスミッションを解除します。
3. 手動で本製品を前進させようとすると、後輪がロックしてスリップするはずですが、後輪が回転する場合は、ブレーキのメンテナンスが必要です。
4. 認定サービスセンターに相談してください。

駐車ブレーキ



警告： 駐車ブレーキが作動しない場合、製品が移動して人の負傷や器物破損に至るおそれがあります。駐車ブレーキを定期的に点検および調整してください。

ブレーキの点検 8 ページを参照してください。

マフラー

マフラーは騒音レベルを最小限に抑え、排気ガスを作業者から遠ざける働きをします。

マフラーがない場合や損傷がある場合は、製品を使用しないでください。マフラーに損傷があると、騒音レベルと火災発生の危険が増加します。



警告： 使用中、使用直後およびエンジンがアイドリング速度で稼働しているときはマフラーが高温になります。可燃性の材料やガスの近くでは火災に注意してください。

マフラーの点検方法

- マフラーを定期的に点検して、正しく取り付けられているか、損傷していないかを確認してください。

斜面の芝刈り方法

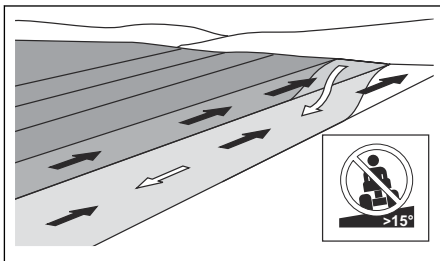


警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 斜面での芝刈りは製品制御が不能になりやすく、横転する可能性が高くなります。これは、負傷や死亡の原因になります。斜面で芝を刈る場合は、慎重に行ってください。斜面を後退で上がれない

場合、またはこの操作に不安がある場合、芝刈りを続行しないでください。

- 石、木の枝、およびその他の障害物は取り除いてください。
- 斜面の芝は左右ではなく、上下に刈ります。
- カuttingデッキを持ち上げた状態で斜面を下りないでください。
- 15 度を超える斜面では、本製品を使用しないでください。



- 斜面で始動または停止しないでください。
- 斜面では、ゆっくりとスムーズに移動してください。
- 速度や方向を急に変えないでください。
- 斜面では、不要な方向転換を避けてください。斜面を下る際は、ゆっくりと移動してください。低速で移動してください。ハンドルは慎重に切ってください。
- 溝、穴、隆起の上を通らないように注意してください。平面ではない地面では、製品が横転するおそれが高くなります。長い芝の中に障害物が隠れていることがあります。
- 地面の端、溝、または土手のすぐ近くでは、芝刈りをしないでください。1 つの車輪が急斜面や溝の端を横切ったり、または端の部分が崩れ落ちた場合、製品が急に横転するおそれがあります。
- 濡れた芝は刈らないでください。濡れた芝では滑りやすく、タイヤが制御を失い本製品が横滑りする可能性があります。
- 本機を安定させようとして地面に足をつけないでください。
- 製品の安定性を低下させるようなアクセサリやその他の物体が取り付けられている場合は、気をつけて移動してください。

燃料の安全について



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 燃料は可燃性があり、煙は爆発性があります。怪我、火災、爆発を防ぐために燃料に注意してください。
- 燃料の煙を吸い込まないようにしてください。燃料の煙は有害であり、負傷するおそれがあります。空気の流れが十分であることを確認してください。

- ・ エンジンの稼働中は燃料タンクのキャップを外したり、燃料タンクに燃料を充填したりしないでください。
- ・ エンジンが冷却してから燃料を充填してください。
- ・ 屋内で燃料を補給しないでください。通気が十分でないと、窒息や一酸化炭素中毒によって負傷や死亡に至ることがあります。
- ・ 燃料やエンジンのそばで喫煙しないでください。
- ・ 燃料やエンジンのそばに熱い物を置かないでください。
- ・ 火花や炎の近くで燃料を充填しないでください。
- ・ 燃料を補充する前に、燃料タンクのキャップを開けて慎重に圧力を解放してください。
- ・ 皮膚に燃料が付着すると負傷するおそれがあります。皮膚に燃料が付着した場合は、石鹸と水を使用して燃料を洗い流してください。
- ・ 衣服にガソリンをこぼした場合は、すぐに着替えてください。
- ・ 燃料タンクいっぱいに充填しないでください。高温になると、燃料が膨張します。燃料タンクの上部に余裕があるようにください。
- ・ 燃料タンクキャップを完全に締め込んでください。燃料タンクキャップが締め込まれていない場合、火災発生の危険があります。
- ・ 製品を始動する前に、給油した場所から 3 m/10 フィート以上離れた位置に製品を移動してください。
- ・ 本製品に燃料やエンジンオイルが付着している場合は始動しないでください。エンジンを始動する前に、不要な燃料とエンジンオイルを取り除き、製品を乾燥させてください。
- ・ エンジンに漏れがないかどうかは定期的に点検してください。燃料システムに漏れがある場合、漏れを修復するまでエンジンを始動しないでください。
- ・ 指を使用してエンジンに漏れがないか点検しないでください。
- ・ 燃料は品質認証された容器に保管してください。
- ・ 本製品と燃料を保管する際は、燃料や燃料の煙による損傷を防止してください。
- ・ 燃料は、屋外にて、品質認証された容器に排出して、火花や炎から遠ざけるようにします。

バッテリーの安全



警告： 破損したバッテリーは爆発して、人の負傷につながります。バッテリーが変形または破損している場合は、認証を受けたハスクバーナサービス代理店にお問い合わせください。



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示を読んでください。

- ・ バッテリーの近くでは、保護メガネを着用してください。

- ・ 時計、宝飾品、またはその他の金属物質を身につけてバッテリーに近づかないでください。
- ・ バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・ バッテリーは十分に換気された場所で充電してください。
- ・ 可燃性材質から 1 m 以上離れた場所で充電してください。
- ・ 交換したバッテリーは破棄してください。廃棄 36 ページを参照してください。
- ・ 爆発性のガスがバッテリーから発生している場合があります。バッテリーの近くで喫煙しないでください。裸火や火花からバッテリーを遠ざけてください。

輸送の安全性

- ・ 本製品の輸送には、認証を受けた輸送車両を使用してください。
- ・ 市場の国または地域の規制によって、製品の輸送が制限される可能性があります。
- ・ 輸送車両の運転者は、輸送中に本製品を安全に固定する責任があります。搬送 35 ページを参照してください。

メンテナンスのための安全注意事項



警告： 製品が重いため、怪我や、物体または隣接するエリアを破損するおそれがあります。エンジンまたはカッティングデッキのメンテナンスは、以下の条件を満たすことなく行わないでください。

- ・ エンジンをオフにします。
- ・ 水平面に駐車します。
- ・ 駐車ブレーキをかけます。
- ・ スタータキーを抜きます。
- ・ カッティングデッキがかかっている状態にします。
- ・ イグニッションケーブルをプラグから抜きます。



警告： エンジンの排気ガスには、無臭で有毒な危険性の高いガスである一酸化炭素が含まれます。密閉されたスペースや通気が十分でないスペースでは、製品を 작동させないでください。



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示をお読みください。

- ・ 最適なパフォーマンスと安全性を確保するため、メンテナンススケジュールに従って定期的にメンテナンスしてください。参照：メンテナンスのスケジュール 17 ページ。
- ・ 感電によって負傷するおそれがあります。エンジンの稼働中は、ケーブルには決して触れないでください。手でイグニッションシステムの機能をテストしないでください。

- 保護カバーが取り外された状態でエンジンを始動しないでください。可動部品や加熱された部品によって負傷する危険性が高いからです。
- 本機が冷えてからエンジン周辺でメンテナンスを行ってください。
- ブレードの刃先は鋭く、触れると怪我をするためご注意ください。ブレードの周辺では風に対して防護してください。また、ブレードで作業する際は保護グローブを着用してください。
- 清掃する場合は、必ずカッティングデッキをサービスポジションにします。カッティングデッキにアクセスする際は、溝または斜面の端の近くに製品を駐車しないでください。



注意： 本製品を使用する前に、以下の注意指示を読んでください。

組立

はじめに



警告： 本製品を組み立てる前に、安全に関する章を読んで理解してください。

カートンからの本製品の取り出し方法

1. 本製品に付属しているバラの部品を取り出します。
2. エンドパネルを取り外します。
3. サイドパネルを取り外し、平らな場所に置きます。
4. 梱包材をすべて取り除きます。
5. 本製品をカートンから取り出し、カートンにバラの部品が残っていないことを確認します。

組み立てツール

- 1/2 インチ (13 mm) レンチ
- 7/16 インチ (11 mm) レンチ (2 本)
- タイヤ空気圧ゲージ
- ナイフ
- プライヤー
- ソケットレンチセット (オプション)

組み立てが必要なバラの部品

本製品は完全に組み立て済みではありません。本製品の購入時、以下の部品は組み立てられていません。



キー、2 本



傾斜シート、1 枚

- スパークプラグまたはイグニッションケーブルを取り外した状態でエンジンを始動しないでください。
- すべてのナットとボルトが正しく締め込まれていること、装置が良好な状態であることを確認してください。
- ガバナーの調整を変更しないでください。エンジン回転数が高すぎる場合は、製品の部品が破損することがあります。
- 本機の承認は、メーカーが提供または推奨した装置を使用して行われます。



オイルドレンチューブ、1 本



ホースコネクター、1 個



六角ボルト、2 本

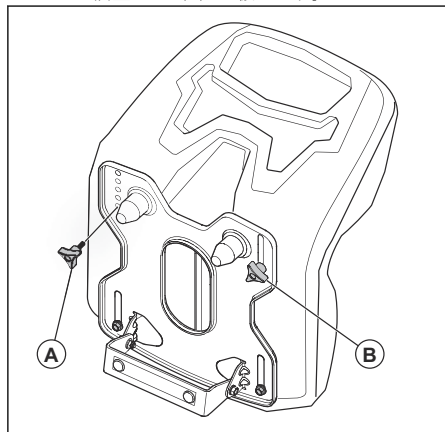


ナット、2 個

シートの調整方法

1. シートを持ち上げて、シート調整ノブ (A) を取り外します。

2. シート調整ノブ (B) を緩めます。



3. ブレーキペダルとクラッチペダルを踏み込める位置になるまでシートを動かします。
4. シートプレートのシート調整ノブ (A) の穴と、シートの穴の位置を合わせます。
5. シート調整ノブ (A) を取り付けて、締めつけます。
6. シート調整ノブ (B) を締めつけます。

バッテリーの接続方法

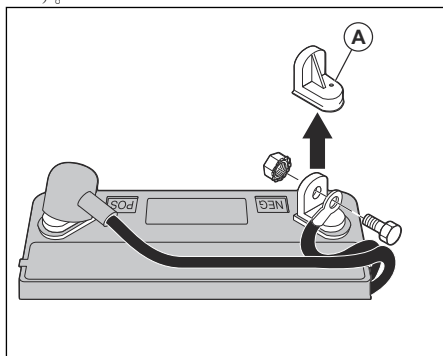


警告： 感電や火傷のおそれがあります。金属製リストバンドや金属製アクセサリなどを着用しないでください。バッテリー端子に金属部品が接触すると、火傷、感電、バッテリーの短絡を引き起こすおそれがあります。

注記： バッテリーのラベルに記載されている年月以降の場合は、バッテリーを充電してください。バッテリーを 6~10 A で 1 時間以上充電します。

1. シートまたはエンジンカバーの下にあるバッテリーの位置を確認します。
2. シート底面またはエンジンカバーを上げます。

3. 2つの端子キャップ (A) を取り外して廃棄します。



4. 図のように、赤色のバッテリーケーブルをプラス (+) 端子に接続し、ボルトとナットを締めつけます。端子に端子カバーを取り付けます。



警告： 火花の発生による危険。黒色のバッテリーケーブルをマイナス端子に接続する前に、赤色のバッテリーケーブルをプラス端子に接続する必要があります。これは、火花や不測の接触を防ぐためです。

5. 黒色のケーブルをマイナス (-) 端子に接続し、ボルトとナットを完全に締めつけます。
6. 腐食を防止するため、バッテリーケーブルにワセリンを塗布します。
7. シート底面またはエンジンカバーを下げます。

スキッドからの本製品の移動方法

1. カuttingデッキを最高位置まで上げます。リフトレバーを使用します。
2. クラッチ/ブレーキペダルを踏み込み、駐車ブレーキを解除します。
3. フリーホイールコントロールを「トランスミッション解除」位置にします。参照：本製品をフリーホイールモードにする方法 16 ページ。
4. 本製品をスキッドから前方に押し出します。
5. 本製品にデフレクター保護材を固定しているストラップを取り外します。

組み立て後の点検

- すべての組み立て手順が完了していることを確認します。
- パッケージに部品が残っていないことを確認します。
- バッテリーが正しく装着され、充電されていることを確認します。
- シートのボルトが締めつけられ、シートが正しく調整されていることを確認します。
- タイヤの空気圧が適切であることを確認します。

- 最良の芝刈りを実現するために、カッティングデッキのバランスが前後および左右で取れていることを確認します。カッティングデッキのバランスを取るために、タイヤの空気圧が適切であることを確認します。
- カッティングデッキとドライブベルトを点検します。ドライブベルトが、プーリーの周囲およびすべてのベルト通しの内側部分に正しく取り付けられていることを確認します。
- 配線を点検します。すべての配線と接続部が安全であることを確認します。
- フリーホイールコントロールが「トランスミッション作動」位置にあることを確認します。参照：本製品をフリーホイールモードにする方法 16 ページ。
- エンジンオイルが正しいレベルであることを確認します。
- タンクに正しい種類の燃料が充填されていることを確認します。
- すべてのコントロールの位置と機能を把握していることを確認します。
- ブレーキシステムが安全に作動する状態であることを確認します。
- オペレータ着座コントロール (OPC) と後退操作システム (ROS) が正しく動作することを確認します。参照：オペレータ着座コントロール (OPC) の点検 7 ページ 条件 3 後退操作システム (ROS) の点検 7 ページ。
- 初めて使用する前に、トランスミッションから空気を除去します。参照：トランスミッションからのエア抜き 30 ページ。

Operation (動作)

はじめに



警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

燃料の充填方法



警告： ガソリンは高可燃性です。十分に注意して、屋外で給油してください。参照：燃料の安全について 8 ページ。



注意： 必ず適切な種類の燃料を使用してください。燃料の種類が正しくないとき、製品が損傷します。

- 正しい種類のガソリンを使用してください。参照：主要諸元 37 ページ。燃料の詳細については、エンジンメーカーから供給されているエンジンの取扱説明書を参照してください。
- 毎回、燃料レベルを確認し、必要に応じて給油します。
- 燃料タンクを満タンにしないでください。1 インチ以上の空間を確保してください。

本製品の始動方法

本製品を始動する前の作業



警告： 本製品を操作する前に、安全注意事項と操作手順書をよく読み、内容を理解してください。

1. エンジンオイルの油面を点検します。参照：エンジンオイルの油面の点検 28 ページ。
2. 燃料タンクに燃料を充填します。参照：燃料の充填方法 12 ページ。

3. フリーホイールモードを解除します。参照：本製品をフリーホイールモードにする方法 16 ページ。
4. 操作位置でシートに座ります。
5. 駐車ブレーキをかけます。参照：駐車ブレーキの作動／解除方法 14 ページ。
6. カッティングデッキが解除されていることを確認します。参照：カッティングデッキの作動／解除方法 15 ページ。

暖機エンジンを始動するには

1. シートに座ります。
2. カッティングデッキが解除されていることを確認します。参照：カッティングデッキの作動／解除方法 15 ページ。
3. カッティングデッキを搬送位置にします。参照：カッティングデッキを搬送位置または芝刈位置に設定する方法 13 ページ。
4. スロットルコントロールを高速位置に動かします。
5. チョークコントロールを引き出します。

注記： 暖気されたエンジンを始動する際は、チョークコントロールは不要場合があります。

6. ブレーキペダルを完全に踏み込み、保持します。
7. スタータキーをイグニッションに差し込みます。
8. スタータキーを「START」位置に回し、エンジンが始動したらスタータキーを放します。



注意： 1 分間に 15 秒以上続けてスタータを作動させないでください。

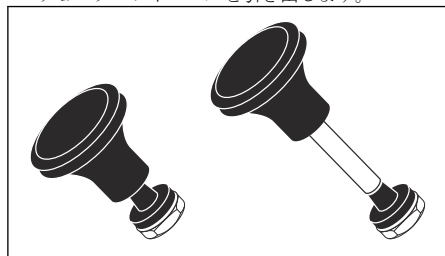
9. エンジンが始動したら、エンジンがスムーズに回転するまでチョークコントロールをゆっくりと押し込みます。エンジンがスムーズに回転したら、装着した装置を操作して前進および後退することができます。

注記： エンジン回転が不安定な場合は、チョークコントロールを数秒間引き出してから、ゆっくりと押し込みます。

注記： エンジンが負荷に対応できない場合は、エンジンを再始動し、1 分間暖機してください。上記の手順に従ってください。

冷機エンジンの始動

1. シートに座ります。
2. カuttingデッキが解除されていることを確認します。参照：Cuttingデッキの作動／解除方法 15 ページ。
3. Cuttingデッキを搬送位置にします。参照：Cuttingデッキを搬送位置または芝刈位置に設定する方法 13 ページ。
4. スロットルコントロールを中央位置まで動かします。
5. チョークコントロールを引き出します。



6. ブレーキペダルを完全に踏み込み、保持します。
7. スタータキーをイグニッションに差し込みます。
8. スタータキーを「START」位置に回し、エンジンが始動したらスタータキーを放します。



注意： 1 分間に 15 秒以上続けてスタータを作動させないでください。

注記： 数回試してみてもエンジンが始動しない場合は、チョークコントロールを押し込み、数分待ってから再度試してください。

9. エンジンが始動したら、スロットルコントロールを高速位置に戻してエンジンを暖機します。低温の場合は、エンジンが暖機されるまで数分かかります。



注意： 周囲温度が 40°F (4°C) 未満の場合、本製品を操作する前に、エンジンを 1 分間アイドリング速度で

運転する必要があります。これにより、トランスミッションが暖機されます。ブレーキペダルを完全に放していることを確認してください。

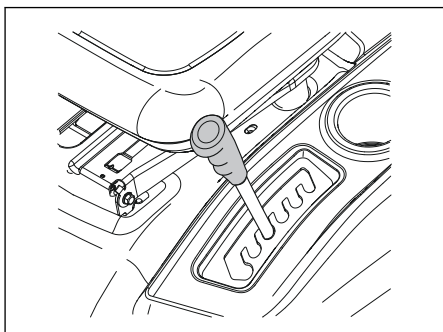
10. チョークコントロールをゆっくりと押し込みます。

Cuttingデッキを搬送位置または芝刈位置に設定する方法

搬送中は、Cuttingデッキを搬送位置にする必要があります。

- 本製品を搬送位置に設定するには、刈高レバーをシート方向に引き、最も高い刈高位置にします。
- 本製品を芝刈位置に設定するには、適切な刈高を設定します。参照：刈高の設定方法 13 ページ。

刈高の設定方法

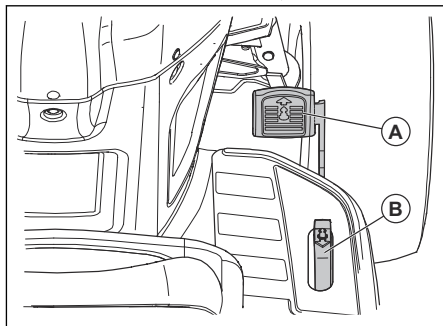


- リフトレバーをシート方向に引き、適切な刈高になるようにノッチの 1 つに入れます。

前進／後退方法

移動方向と速度は前進／後退駆動ペダルによって制御されます。

1. エンジンが始動します。
2. 駐車ブレーキを解除します。参照：駐車ブレーキの作動／解除方法 14 ページ。
3. 移動を開始するには、前進ペダル (A) または後退ペダル (B) をゆっくりと踏み込みます。

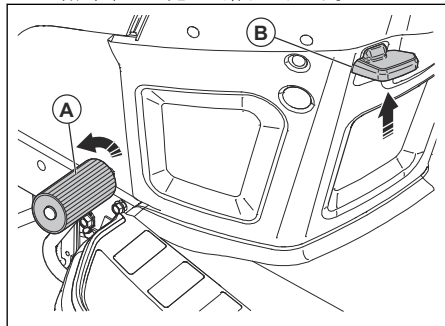


注記： 前進ペダルと後退ペダルは、踏み込まれていないときはニュートラル位置に戻ります。

4. 前進ペダルまたは後退ペダルをさらに踏み込むと、速度が速くなります。

駐車ブレーキの作動／解除方法

1. 駐車ブレーキをかけるには、ブレーキペダル (A) を最低位置まで完全に踏み込みます。



2. ブレーキペダルを踏み込んだ状態で、駐車ブレーキレバー (B) を引き上げます。
3. ブレーキペダルを放します。
4. 駐車ブレーキレバーを放します。

注記： 駐車ブレーキによって本製品が安全に保持されることを確認してください。

5. 駐車ブレーキを解除するには、ブレーキペダルを踏み込みます。

本製品の停止方法

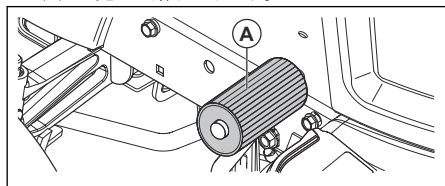


警告： 本製品から離れる前に、必ず本製品を停止し、駐車ブレーキをかけてからスタータキーを抜いてください。



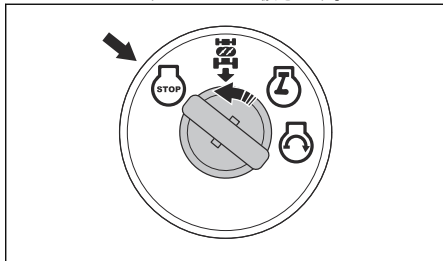
注意： 暖機されたエンジンからの排気ガスにより、芝が燃えて損傷を受けるおそれがあります。火災による損傷を防ぐために、芝の上で本製品を停止するときは必ずエンジンを停止してください。

1. 本製品が完全に停止するまで、ブレーキペダル (A) を完全に踏み込みます。



2. カuttingデッキを解除します。参照：カuttingデッキの作動／解除方法 15 ページ。

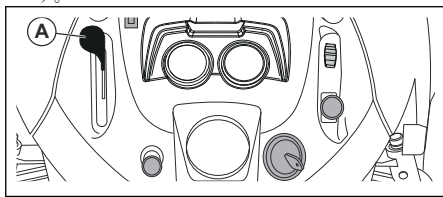
3. スロットルコントロールを低速位置にし、エンジンを数分間アイドリング速度で運転します。
4. カuttingデッキを搬送位置にします。参照：カuttingデッキを搬送位置または芝刈位置に設定する方法 13 ページ。
5. スタータキーを「STOP」位置に回し、スタータキーをイグニッションから抜きます。



スロットルコントロールの使用方法

エンジンを最高速度未満で運転すると、エンジンの運転効率が低下します。最高速度で運転することで、芝刈機のパフォーマンスが最大限に発揮されます。

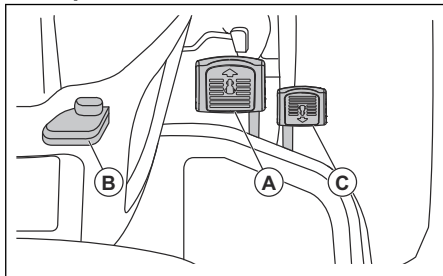
- スロットルコントロール (A) を「FULL (フル)」位置に設定し、エンジンを最高速度で運転します。



クルーズコントロールの使用方法

クルーズコントロールは、滑らかに整地された平らな地面での前進時のみ使用してください。クルーズコントロールの作動条件が不十分になると、クルーズコントロールは自動的に解除されます。

1. 前進ペダル (A) を踏み込みます。前進ペダルは、地形に応じた適切な速度の位置で保持してください。

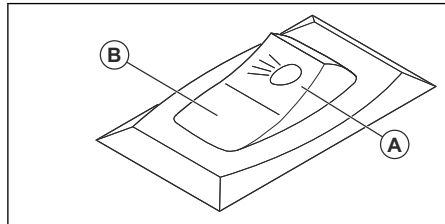


2. クルーズコントロールレバー (B) を引き上げたまま、前進ペダルを放します。

3. クルーズコントロールレバーを放すと、クルーズコントロールが作動します。
4. ブレーキペダル (C) を踏むか、前進ペダルを軽く踏むと、クルーズコントロールが解除されます。

ヘッドライトの使用方法

- 電源スイッチを位置 (A) まで押すと、ヘッドライトが点灯します。



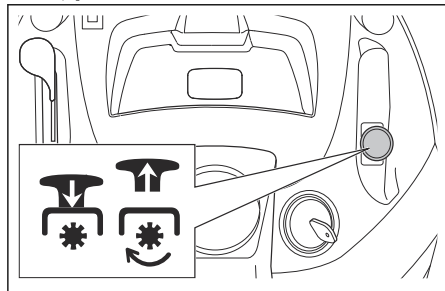
- 電源スイッチを位置 (B) まで押すと、ヘッドライトが消灯します。

カッティングデッキの作動／解除方法

本製品には、オペレータ着座コントロール (OPC) が装備されています。エンジンを「ON」にしてカッティングデッキが作動している状態でシートから離れると、エンジンが停止します。

しっかりとシートの中央に座り、エンジンが正常に作動して、起伏の多い地形や傾斜地で停止しないことを確認してください。

1. 正しい刈高を設定します。参照: 刈高の設定方法 13 ページ。
2. アタッチメントクラッチコントロールを動かします。



- a) アタッチメントクラッチコントロールを上へ引くと、カッティングデッキが作動します。
- b) アタッチメントクラッチコントロールを下に押すと、カッティングデッキが解除されます。

後退操作システム (ROS) の使用方法

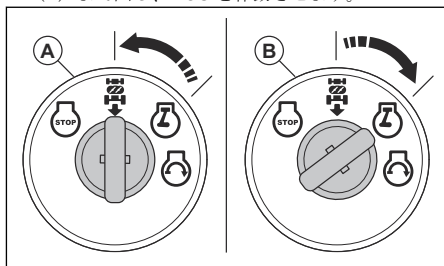
注記: カッティングデッキの作動中に本製品を後退させると、直ちにエンジンが停止します。カッテ

ィングデッキの作動中に本製品を後退させる場合は、ROS を作動させます。



警告: 本製品の後退前と後退中は、本製品の後ろと下を確認にして他の人の安全を確保してください。

1. スタータキーを反時計方向に ROS 「ON」 位置 (A) まで回し、ROS を作動させます。

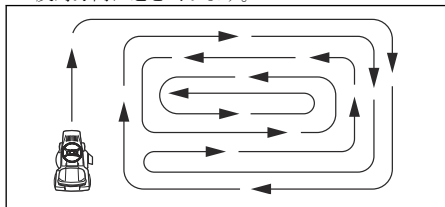


2. 後退ペダルをゆっくりと踏み込み、移動を開始します。
3. スタータキーを時計方向にエンジン「ON」位置 (B) まで回し、ROS を解除します。

良好に芝を刈る方法

- 最適なパフォーマンスを確保するため、メンテナンススケジュールに従って定期的にメンテナンスしてください。参照: メンテナンスのスケジュール 17 ページ。
- 濡れた状態で芝を刈らないでください。芝が濡れていると、うまく芝を刈ることができません。
- 本製品にカッティングデッキを取り付けた際に、タイヤチェーンを使用しないでください。
- カッティングデッキが水平になっていることを確認します。参照: カッティングデッキの平行性の調整 25 ページ。
- 芝が伸びている場合は、高い刈高から始めて徐々に低くしていきます。
- 芝が伸びて密生している場合は、本製品を低速で前進させます。
- 芝を刈るときは、フルスロットルを使用します。
- 不規則なパターンで草をカットします。
- 樹木、茂み、小道付近の芝を刈る場合は、カッティングデッキの左側を使用します。ブレードは、カッティングデッキの側面から約 15 mm 内側を刈り取ります。

- 広い範囲の芝を刈る場合は、本製品を右方向に移動させながら作業エリアを1〜2周します。これにより、芝が低木やフェンス、車道から離れた場所に排出されます。作業エリアを約2周した後、反対方向に芝を刈ります。



- 最良の刈り取り結果を実現するには、芝刈りを頻繁に行います。

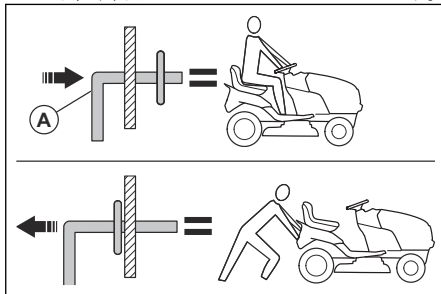
本製品をフリーホイールモードにする方法

エンジンを使用せずに本製品を移動または牽引する必要がある場合は、本製品をフリーホイールモードにする必要があります。



警告： 斜面では本製品をフリーホイールモードにしないでください。

- フリーホイールコントロールレバー (A) を押し込み、本製品をフリーホイールモードにします。



- フリーホイールコントロールレバーを引き出し、エンジンを使用して本製品を操作します。

メンテナンス

はじめに



警告： 本製品のメンテナンスを実行する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

メンテナンスのスケジュール

メンテナンスのスケジュール		使用前 毎回	8 時間 ごと	25 時間 ごと	50 時間 ごと	100 時 間ごと	季節ご と	保管前
製品	ブレーキ機能を点検します。	X	X					
	タイヤの空気圧を点検します。	X	X					
	オペレータ着座コントロール (OPC) を点検します。	X						
	後退操作システム (ROS) を点検します。	X						
	留め具の緩みを点検します。	X				X		X
	ブレードに摩耗や損傷がないかを点検します。			X ²				
	本製品を潤滑します。 参照: 注油スケジュール 18 ページ。			X				X
	バッテリーレベルを点検します。			X				
	バッテリーと端子を清掃します。			X				X
	ステアリングプレートから異物を除去します。 参照: 製品の清掃 19 ページ。			X				
	トランスアクスルの冷却ファンを点検します。			X				
	カッティングデッキが水平になっていることを確認します。				X			
	V ベルトを点検します。					X		

2

砂や土がある場所で芝刈りを行う場合は、より頻繁にブレードを点検してください。

メンテナンスのスケジュール		使用前 毎回	8 時間 ごと	25 時間 ごと	50 時間 ごと	100 時 間ごと	季節ご と	保管前
エンジン	エンジンオイルの油面を点検します。	X	X					
	エンジンオイルを交換します (オイルフィルター付きモデル)。				X ¹			X
	エンジンオイルを交換します (オイルフィルターのないモデル)。			X ¹				X
	エアフィルターを清掃します。			X ³				
	風よけを清掃します。			X ³				
	マフラーとスパークアレスターを点検します。				X			
	オイルフィルターを交換します (装備されている場合)。					X ¹	X	
	エンジン冷却フィンを清掃します。					X ³		
	スパークプラグを交換します。					X	X	
	エアフィルターの紙カートリッジを交換します。					X ³		
	燃料フィルターの交換						X	
	マフラーを点検します。 参照: マフラーの点検方法 8 ページ。				X			

注油スケジュール



注意：特殊なナイロンベアリングが装備されている回転箇所には注油しないでください。粘性のある潤滑油には汚れが付着する可能性があります。この汚れによって特殊なナイロンベアリングの寿命が短くなります。ナイロンベアリングに注油する必要がある場合は、乾燥タイプの潤滑剤を少量のみ使用してください。

1

1

3

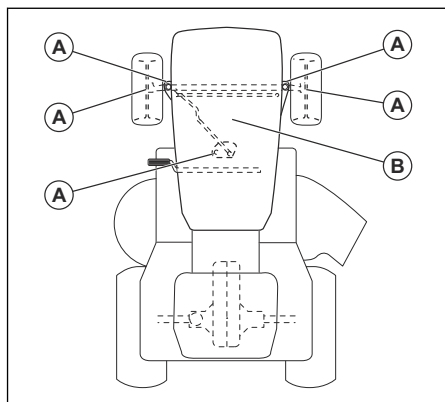
3

1

3

3

負荷が高い、周囲温度が高い、汚れが多い状態で使用する場合は、より頻繁に交換してください。
負荷が高い、周囲温度が高い、汚れが多い状態で使用する場合は、より頻繁に交換してください。
汚れが多い状態で使用する場合は、より頻繁に交換してください。
汚れが多い状態で使用する場合は、より頻繁に交換してください。
負荷が高い、周囲温度が高い、汚れが多い状態で使用する場合は、より頻繁に交換してください。
汚れが多い状態で使用する場合は、より頻繁に交換してください。
汚れが多い状態で使用する場合は、より頻繁に交換してください。



A. 一般的な注油。スピンドルのグリース接続部、フロントホイールベアリング、ステアリング部品のギア歯に注油します。

B. エンジンへの注油。参照：エンジンの潤滑方法 27 ページ。

トラクタ

製品の清掃

ガーデンホースや高圧洗浄機を使用して表面を清掃しないでください（洗浄口を除く）。エンジンやトランスミッションに水をかけないでください。エンジンやトランスミッションに水が侵入すると、本製品の寿命が短くなるおそれがあります。草、葉、ごみを取り除く場合は、圧縮空気やリーフブローを使用してください。

- エンジン、バッテリー、シートなどの部品から異物をすべて除去します。
- ステアリングプレートの汚れを清掃します。汚れにより、クラッチ/ブレーキペダルシャフトの動きが制限され、ベルトが緩んで前進運動が妨げられます。



注意： すべてのピンチポイントや可動部を避けてください。

- 本機の表面とホイールにガソリンやオイルなどが付着しないようにします。
- 自動車用ワックスを使用して表面の損傷を防止します。

デッキ洗浄口の使用



警告： 芝刈機のすべての穴にボルトとロックナットを取り付けます。

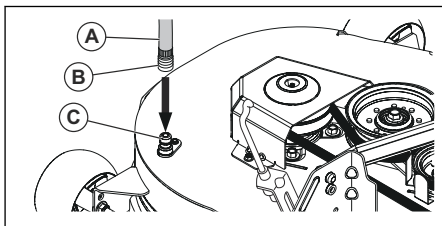


警告： 洗浄口が破損したり欠如している場合は、芝刈機を使用する前にすぐに交換してください。



警告： 洗浄口が破損したり欠如していると、ブレードに触れた異物が飛散して負傷の原因となります。

本製品には、デッキ洗浄システムの一部として洗浄口が装備されています。作業後に毎回使用してください。



- 水栓に接続したガーデンホース (A) 付近の平坦で開けた場所に本製品を移動します。



注意： 排出口が建物や駐車車両などの資産から離れていることを確認します。必要に応じて、コレクターシートまたはマルチカバーを取り外します。

- アタッチメントクラッチコントロールが「DISENGAGED（解除）」位置にあることを確認します。駐車ブレーキをかけて、エンジンを停止します。
- ノズルアダプター (B) をガーデンホース (A) 端部に取り付けます。
- ノズルアダプター (B) を芝刈機デッキの左端にある洗浄口 (C) に取り付けます。ロックカラーを解除して、洗浄口 (C) にあるノズルアダプター (B) をロックします。



注意： ホース (A) を引っ張り、接続部が安全であることを確認します。

- 水栓を開きます。
- オペレータシートに座ります。エンジンを始動し、スロットルレバーを「高速」位置にします。



注意： デッキを清掃する際は、作業範囲に何もなく、子供がいないことを確認してください。

- アタッチメントクラッチコントロールを「ENGAGED（作動）」位置に動かします。デッキの清掃が終了するまで、カッティングデッキが作動している状態でオペレータシートで待機します。
- アタッチメントクラッチコントロールを「DISENGAGED（解除）」位置に動かします。スタータキーを「STOP」位置に回して、エンジンを停止します。水栓を閉じます。

9. ロックカラーを解除して、ノズルアダプター (B) を洗浄口 (C) から外します。
10. 本製品を乾燥した場所に移動します。アタッチメントクラッチコントロールを「ENGAGED (作動)」位置にして不要な水を除去し、本製品を乾燥させてから移動します。

スロットルコントロールケーブルの調整

スロットルコントロールは工場出荷時に設定されているため、調整は不要です。調整が必要な場合は、エンジンの取扱説明書を参照してください。

インターロックおよびリレーの点検

注記： 配線の緩みや損傷は、本製品の動作不良、停止、始動不良の原因となるおそれがあります。

- 配線を点検します。

LED ヘッドライトの交換

1. フードを持ち上げます。
2. LED ライトからハーネスを外します。
3. 取り付けネジを外して、LED ライト、リフレクター、レンズを取り外します。
4. LED ライト、リフレクター、レンズを正しく交換します。
5. 取り付けネジを使用して取り付けます。
6. ハーネスを LED ライトに再接続します。
7. フードを閉じます。

タイヤの点検

注記： タイヤの穴を塞ぐ、またはタイヤから徐々に空気が漏れてパンクすることを防ぐには、最寄りの部品販売店でシーラントを購入してください。タイヤシーラントは、タイヤの乾燥腐敗や腐食も防止します。

- すべてのタイヤの空気圧が正しいことを確認します (正しい PSI については、タイヤ側面を参照してください)。
- ゴムが損傷するおそれがあるため、タイヤにガソリン、オイル、虫よけなどの化学物質が付着しないようにしてください。
- 切り株、石、わだち、鋭利な物体など、タイヤを損傷するおそれのある危険物にタイヤを近づけないでください。

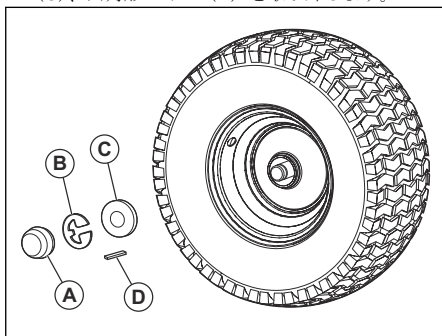
タイヤの修理

1. フロントアクスルを持ち上げ、安全に支えます。



注意： アクスルは一度に1つずつ持ち上げて支えてください。

2. ダストカバー (A)、E クリップ (B)、ワッシャー (C)、四角形のキー (D) を取り外します。



注記： 四角形のキーは後輪にしかありません。

3. アクスルからホイールを取り外します。
4. ホイールからタイヤを取り外します。
5. タイヤを修理します。

注記： タイヤシーラントを使用してタイヤの穴を塞ぎます。タイヤシーラントは、タイヤの乾燥腐敗や腐食も防止します。

6. ホイールにタイヤを取り付けます。
7. アクスルにホイール、ワッシャー、四角形のキー、E クリップを取り付けます。E クリップがアクスルの溝に正しく取り付けられていることを確認します。
8. ダストカバーを取り付けます。

V ベルトの点検

ベルトは調節できません。

- 100 時間運転するごとに、V ベルトの劣化と摩耗を点検します。
- 摩耗により V ベルトが滑り始めた場合は交換します。

トランスアクスル冷却ファンのメンテナンス



注意： エンジン作動中やトランスミッションが高温の間は、ファンやトランスミッションを清掃しないでください。



注意： 高圧洗浄機やスチームクリーナーは使用しないでください。水分がベアリングや電機接続部に入り込んで錆を生じ、製品が損傷するおそれがあります。

トランスミッションを低温に保つために、トランスミッションファンと冷却フィンを清潔に保ってください。

- 水洗いする前に、ブラシで汚れを落とします。トランスミッションファンと冷却フィン、および周囲に付着した芝の切れ端や汚れを取り除きます。
- 冷却ファンを点検し、ファンブレードに汚れや傷がないことを確認します。

トランスアクスルポンプフルードの点検

- トランスアクスルポンプフルードが漏れていないことを確認します。
- トランスアクスルポンプフルードが漏れている場合は、最寄りの認定サービスセンターに相談してください。

フロントホイールのトーインとキャンバーの調整

フロントホイールのトーインとキャンバーは、工場出荷時に正しく設定されています。フロントホイールトーインおよびキャンバーは調整できません。

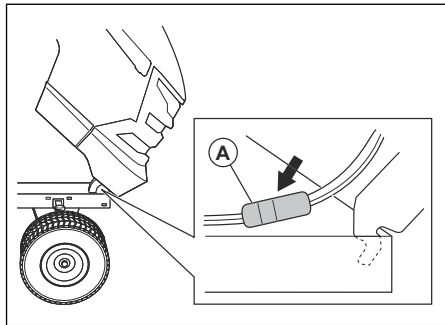
- 工場出荷時に設定されたフロントホイールのトーインまたはキャンバーが損傷している場合は、認定サービスセンターに相談してください。

ヒューズの交換

本製品には自動車用ヒューズが装備されています。ヒューズホルダーはダッシュボードの後ろにあります。

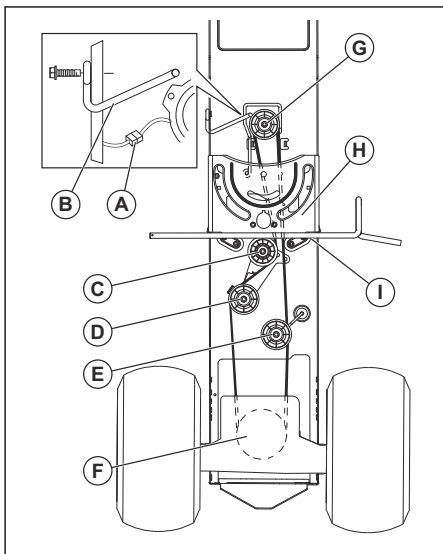
1. ヒューズホルダーを保持し、切れたヒューズを引き抜きます。
2. 新しいヒューズをヒューズホルダーに取り付けます。

エンジンカバーおよびグリルアセンブリの脱着



1. エンジンカバーを持ち上げます。
2. ヘッドライトの配線コネクター (A) を外します。
3. トラクターの前に立ちます。エンジンカバーの両側を持ちます。エンジンカバーをエンジンの方向に傾けて持ち上げ、本製品から取り外します。
4. 逆の手順で取り付けます。

作動ドライブベルトの交換



本製品を水平面に駐車します。駐車ブレーキをかけます。左フットレストの下部にあるベルト設置ガイドステッカーを参照してください。

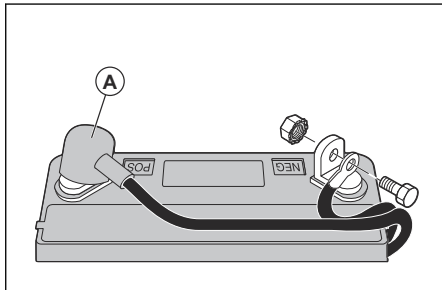
1. ベルトを取り外します。
 - a) 芝刈機を取り外します。参照：芝刈機の取り外し 23 ページ。

注記： 作動ドライブベルト、およびベルトガイドとベルト通しの位置に注意してください。

- b) クラッチワイヤーハーネス (A) を外します。
 - c) 本製品の右側にある回り留めリンク (B) を取り外します。
 - d) 固定アイドラー (C) とクラッチアイドラー (D) からベルトを取り外します。
 - e) センタースパンアイドラー (E) からベルトを取り外します。
 - f) ベルトを本製品の後方まで引っ張ります。トランスミッション入力プーリーと冷却ファンブレード (F) の上からベルトを慎重に取り外します。
 - g) エンジンプーリーと電気クラッチ (G) の周囲からベルトを取り外します。
 - h) ベルトを本製品の後方に動かし、ステアリングプレート (H) から外します。本製品から取り外します。
2. 新しいベルトを本製品の後方から前方に配置し、ステアリングプレート (H) とクラッチブレーキペダルシャフト (I) の上に取り付けます。
 - a) ベルトを本製品の前方に引っ張り、電気クラッチの周囲とエンジンプーリー (G) の上に取り付けます。

- b) ベルトを本製品の後方まで引っ張ります。
- c) ベルトをトランスミッション冷却ファン周囲の下と入力プーリー (F) の上に慎重に取り付けます。ベルトがベルト通しを通っていることを確認します。
- d) センタースパンアイドラー (E) にベルトを取り付けます。
- e) 固定アイドラー (C) とクラッチアイドラー (D) にベルトを取り付けます。
- f) 回り留めリンク (B) を本製品の右側に取り付け、完全に締めつけます。
- g) クラッチハーネス (A) を接続します。
- h) ベルトがすべてのプーリーの溝にはまり、すべてのベルトガイドとベルト通しを通っていることを確認します。
- i) 芝刈機を取り付けます。参照： 芝刈機デッキの取り付け 23 ページ

3. 端子カバー (A) を取り外します。



4. ボルトとナットを取り外し、マイナス (-) 端子から黒色 (マイナス) のバッテリーケーブルを外します。



警告： 感電や火傷のおそれがあります。赤色 (プラス) のバッテリーケーブルを外す前に、黒色 (マイナス) のバッテリーケーブルを外す必要があります。

5. ボルトとナットを取り外し、プラス (+) 端子から赤色 (プラス) のバッテリーケーブルを外します。
6. 本製品からバッテリーを慎重に取り外します。
7. 新しいバッテリーを取り付けます。
8. 赤色 (プラス) のバッテリーケーブルをプラス (+) 端子に接続し、ボルトとナットを締めつけます。



警告： 感電や火傷のおそれがあります。怪我や不測の接触を防ぐため、黒色 (マイナス) のバッテリーケーブルをマイナス (-) 端子に接続する前に、赤色 (プラス) のバッテリーケーブルをプラス (+) 端子に接続する必要があります。

9. 黒色 (マイナス) のバッテリーケーブルをマイナス (-) 端子に接続し、ボルトとナットを締めつけます。
10. 端子カバーを取り付けます。
11. エンジンカバーを閉じます。

ジャンパーケーブルの接続方法



警告： バッテリーから生じる爆発性ガスによる爆発の危険があります。充電されたバッテリーのマイナス端子を、消耗したバッテリーのマイナス端子につないだり、近づけたりしないでください。



注意： 本製品のバッテリーを使用して、他の車両を始動させないでください。

バッテリー

バッテリーと端子の清掃

バッテリーや端子に腐食や汚れがあると、バッテリーが消耗するおそれがあります。

1. 端子ガードを取り外します。
2. 黒色のバッテリーケーブルを外します。
3. RED バッテリーケーブルを外し、本製品からバッテリーを取り外します。
4. バッテリーに水を吹き付けて乾かします。
5. 端子とバッテリーケーブル端部をワイヤーブラシで清掃します。
6. 端子をグリースまたは同等品で潤滑します。
7. バッテリーを取り付けます。参照： バッテリーの交換 22 ページ。

バッテリーの交換

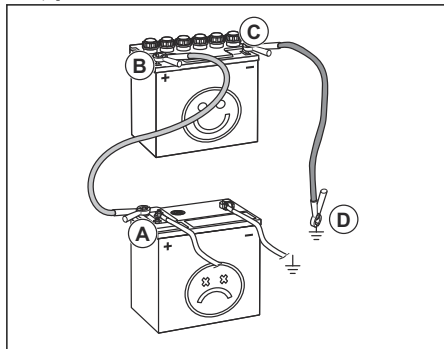
バッテリーはシートの下に搭載されています。



警告： 感電や火傷のおそれがあります。金属製リストバンドや金属製アクセサリなどを着用しないでください。バッテリー端子に金属部品が接触すると、火傷、感電、バッテリーの短絡を引き起こすおそれがあります。

1. 本製品を停止します。参照： 本製品の停止方法 14 ページ。
2. エンジンカバーを開きます。

1. 赤いバッテリーケーブルの片方の端を、消耗したバッテリーのプラス (+) 端子 (A) に接続します。



2. 赤いバッテリーケーブルのもう一方の端を、充電されたバッテリーのプラス (+) 端子 (B) に接続します。



警告： 赤いバッテリーケーブルの端をシャーシに接触させないでください。短絡の原因になります。

3. 黒いバッテリーケーブルの一方の端を、充電されたバッテリーのマイナス (-) 端子 (C) に接続します。
4. 黒いバッテリーケーブルのもう一方の端をシャーシのアース (D) に接続します。このとき、燃料タンクやバッテリーから離れた場所に接続してください。

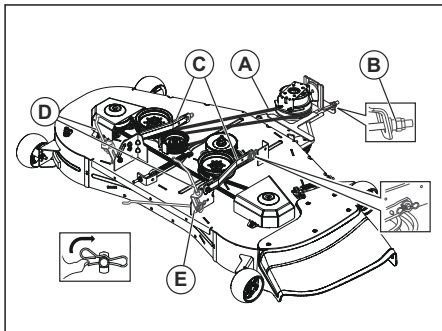
ジャンパーケーブルの取り外し方法

注記： ジャンパーケーブルを、接続方法の逆の手順で取り外します。

1. 黒いケーブルをシャーシから取り外します。
2. 黒いケーブルを完全に充電されたバッテリーから取り外します。
3. 赤いケーブルを 2 個のバッテリーから取り外します。

カッティングデッキ

芝刈機の取り外し



1. アタッチメントクラッチスイッチを解除位置に設定します。
2. アタッチメントリフトレバーを最低位置に下げます。
3. 電動クラッチプーリー (A) から、芝刈機のドライブベルトを取り外します。参照：芝刈機のドライブベルトの取り外し 26 ページ。
4. リティナースプリングとワッシャーを取り外し、芝刈機からフロントリンク (B) を外します。
5. 芝刈機の片側に移動します。
6. 芝刈機のスuspensionアーム (C) をシャーシから外します。
7. リヤリフトリンク (D) をリヤ芝刈機ブラケット (E) から外します。
8. 芝刈機の反対側に移動して、スuspensionアームとリヤリフトリンクを外します。



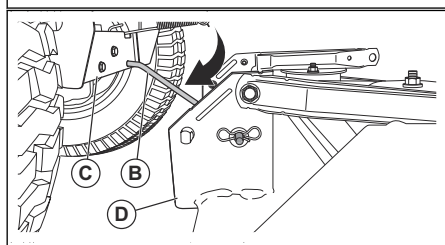
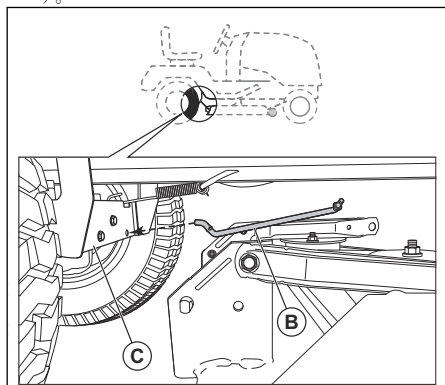
注意： リヤリフトリンクを外すと、アタッチメントリフトレバーにばね荷重がかかります。レバーの位置を変更するときは、リフトレバーをしっかり保持してください。

9. 本製品から芝刈機を取り外します。

芝刈機デッキの取り付け

1. 本製品を平坦な場所に停めて、駐車ブレーキをかけます。参照：駐車ブレーキの作動／解除方法 14 ページ。
2. 芝刈機デッキのリフトレバーを最低位置に下げます。芝刈機デッキのスuspensionアームが前向きになっていることを確認してください。
3. 本製品下部の中央にくるまで、下芝刈機デッキを移動します。

4. 必要に応じて、揺れ防止バー (B) を取り付けます。

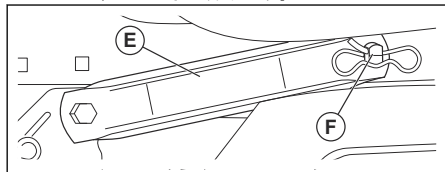


- a) 右側から、揺れ防止バー (B) の 90 度側をトランスアクスルブラケット (C) の穴に入れます。

注記： トランスアクスルブラケット (C) が図と異なる場合がありますが、揺れ防止バーの穴は同じ位置にあります。

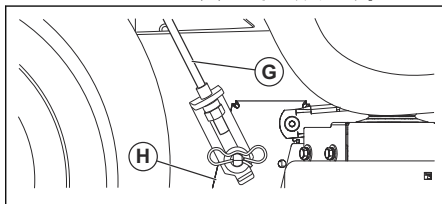
- b) 揺れ防止バー (B) の組み込みワッシャー側を、芝刈機デッキの右側にあるリヤ芝刈機デッキブラケットの方に回します。
c) 芝刈機デッキを動かして、組み込みワッシャー側をリヤ芝刈機デッキブラケット (D) の穴に入れます。
d) 図のように、小型ワッシャーと小型リテーナースプリングを取り付けます。

5. 芝刈機デッキ (E) のサイドサスペンションアームをシャーシに取り付けます。

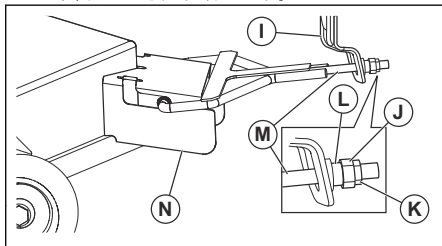


- a) サスペンションアームの穴をシャーシ外側表面のピン (F) の上に合わせます。
b) リテーナースプリングを取り付けます。
c) 本製品の反対側で手順 A と B を実行します。

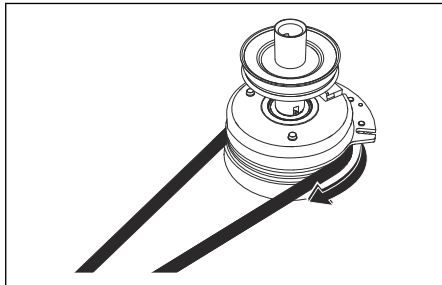
6. リヤリフトリンク (G) を取り付けます。



- a) 芝刈機デッキ後方の角を持ち上げます。
b) リンクアセンブリのスロットを、リヤ芝刈機デッキブラケット (H) のピンの上に合わせます。
c) ワッシャーとリテーナースプリングを取り付けます。
d) 本製品の反対側で手順 A~C を実行します。
7. フロントリンク (M) を取り付けます。この手順は本製品の左側で実行します。



- a) リンクアセンブリのネジ山付きロッドの先端を、サスペンションブラケット (I) の正面の穴に入れます。
b) ブッシング (L) を取り付けて、ナット (J) と薄口ナット (K) を緩めに取り付けます。
c) フロントリンク (M) の平らな端部を、フロント芝刈機デッキブラケット (N) のスロットに入れます。
8. 前後の高さを比較します。調整が必要な場合は、「カッティングデッキの平行性の調整 25 ページ」を参照してください。
9. 芝刈機デッキのドライブベルトを電動クラッチプーリーに取り付けます。



注意： ドライブベルトが芝刈機デッキのプーリーのすべての溝を通

て正しく取り回されていることを確認します。

10. 芝刈機デッキのリフトレバーを最高位置に設定します。
11. 必要に応じて、芝刈機デッキを操作する前にゲージホイールを調整します。参照：アンチスカブローターの調整 27 ページ。

カッティングデッキの平行性の調整

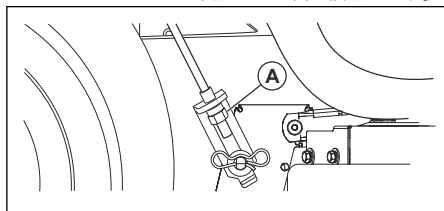
目視によるカッティングデッキの左右の調整

本製品の左右で刈高が異なる場合は、刈高を調整できます。カッティングデッキの刈高が低い側で刈高を調整します。

1. タイヤに十分空気が入っていることを確認します。
2. 本製品を水平面に駐車します。
3. カッティングデッキの刈高が低い側に移動します。

注記：一部のモデルでは、左側の調整しかできません。

4. 3/4 インチレンチを使用して刈高を調整します。



注記：リフト調整ナットを 1 回転させるごとに、カッティングデッキの高さが 3/16 インチ (4.7 mm) 変わります。

- a) リフト調整ナット (A) を左に回すと、カッティングデッキが下降します。
 - b) リフト調整ナット (A) を右に回すと、カッティングデッキが上昇します。
5. 芝を刈り、結果を確認します。必要に応じて調整します。

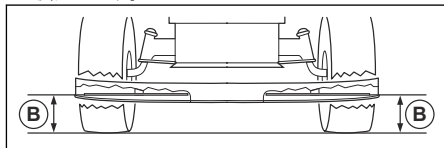
カッティングデッキの正確な左右の調整

1. タイヤに十分空気が入っていることを確認します。
2. 本製品を水平面に駐車します。
3. カッティングデッキを搬送位置にします。参照：カッティングデッキを搬送位置または芝刈位置に設定する方法 13 ページ。
4. 外側のブレードチップを回して、カッティングデッキの左右を合わせます。



警告：カッティングデッキのブレードは鋭利なため、怪我をするおそれがあります。保護グローブを着用してください。

5. ブレード下端から地面までの距離 (B) を左右で測定します。

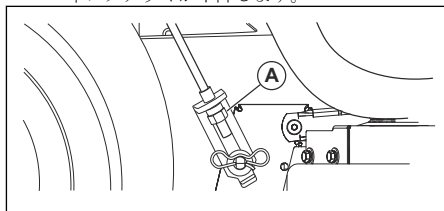


注記：左右の距離は同じである必要があります。

6. 3/4 インチレンチを使用して刈高を調整します。

注記：リフト調整ナットを 1 回転させるごとに芝高が約 3/16 インチ (4.7 mm) 変わります。

- a) リフト調整ナット (A) を左に回すと、カッティングデッキが下降します。



- b) リフト調整ナット (A) を右に回すと、カッティングデッキが上昇します。

7. 再度、距離を測定します。左右が同じになるまで調整します。
8. 芝を刈り、結果を確認します。必要に応じて調整します。

カッティングデッキの前後の調整

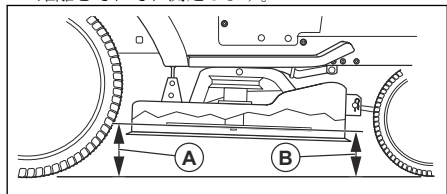
前後の調整を行う前に、カッティングデッキの左右を水平にする必要があります。参照：目視によるカッティングデッキの左右の調整 25 ページ。

1. タイヤに十分空気が入っていることを確認します。
2. 本製品を水平面に駐車します。
3. カッティングデッキを搬送位置にします。参照：カッティングデッキを搬送位置または芝刈位置に設定する方法 13 ページ。
4. まっすぐ前を向くまでブレードを回します。



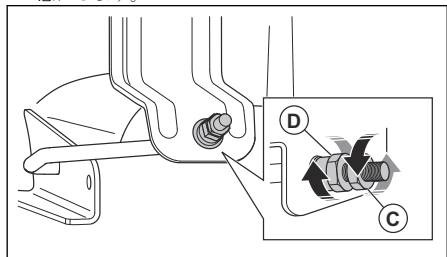
警告：カッティングデッキのブレードは鋭利なため、怪我をするおそれがあります。保護グローブを着用してください。

5. ブレードの後端 (A) と先端 (B) から地面までの距離をそれぞれ測定します。



注記： 最良の刈り取りを行うには、カッティングデッキが最高位置のときに、前端が後端よりも 1/8～1/2 インチ (3.1～12.7 mm) 低くなるようにブレードを調整する必要があります。

6. 本製品の前方に移動して調整します。
7. 11/16 インチレンチを使用して薄口ナット (C) を緩め、リフト調整ナット (D) を調整可能な状態にします。



8. 3/4 インチレンチを使用してカッティングデッキの高さを調整します。

注記： リフト調整ナットを 1 回転させるごとに、カッティングデッキの高さが 1/8 インチ (3.1 mm) 変わります。

- a) リフト調整ナットを反時計方向に回すと、カッティングデッキが下降します。
 - b) リフト調整ナットを時計方向に回すと、カッティングデッキが上昇します。
9. 前後の距離を再度測定します。
 10. ブレードの前端が後端よりも 1/8～1/2 インチ (3.1～12.7 mm) 低くなるまで調整します。
 11. レンチを使用してリフト調整ナットを所定の位置に保持し、薄口ナットを締めつけます。

ブレードの交換

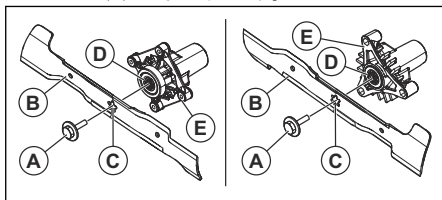
最良の刈り取りを行うために、芝刈機のブレードを鋭利な状態に維持してください。曲がりや損傷があるブレードは交換してください。



注意： 交換用ブレードは、メーカーが認証したもののみを使用してください。本製品のメーカーが認証していないブレードを使用することは危険です。使用に

より本製品が損傷し、保証が無効になることがあります。

1. カッティングデッキを搬送位置にします。参照：カッティングデッキを搬送位置または芝刈位置に設定する方法 13 ページ。
2. ボルト (A) を反時計方向に回して取り外し、ブレード (B) を取り外します。



警告： カッティングデッキのブレードは鋭利なため、怪我をするおそれがあります。保護グローブを着用してください。

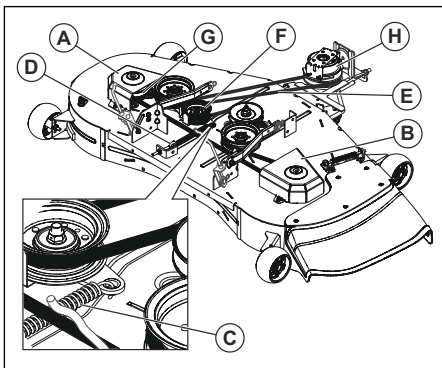
3. 新しいブレードまたは目立てしたブレードとボルトを取り付けます。



注意： ブレード中央の穴 (C) は、マンドレルアセンブリ (E) の星型 (D) に合わせる必要があります。

4. ボルトを 45～55 ft-lbs (62～75 Nm) でトルク締めします。

芝刈機のドライブベルトの取り外し

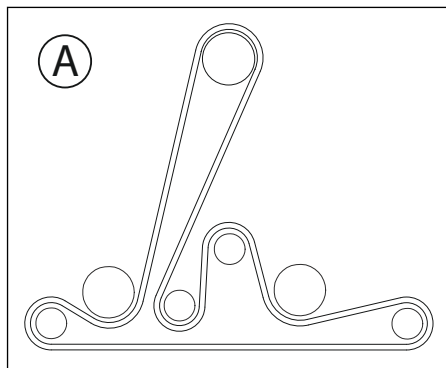


1. 本製品を平坦な場所に駐車して、駐車ブレーキをかけます。
2. アタッチメントリフトレバーを最低位置に下げます。
3. マンドレルカバー (A および B) を取り外します。
4. マンドレルの周囲とデッキの上面から汚れや刈り取った芝を取り除きます。
5. アイボルト (D) からスプリング (C) を取り外します。

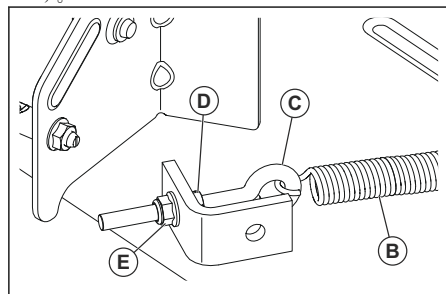
- すべてのプーリー (F および G) からベルト (E) を取り外します。
- エンジンシャフトの電動クラッチ (H) の周囲からベルト (E) を取り外します。

芝刈機のドライブベルトの取り付け

注記： デッキベルト取り付けの参考として、カッティングデッキのルートステッカーを参照してください。



- すべてのプーリー (A) の周囲にベルトを取り付けます。ベルトがねじれていないことを確認します。
- スプリング (B) をアイボルト (C) に接続します。



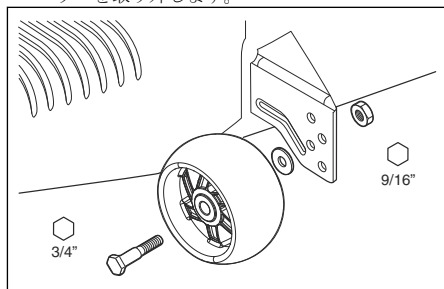
- スプリングの長さが 5.75 インチ (14.6 cm) になるようにベルトの張りを調整します。
 - 内側の調整ナット (D) を緩めます。
 - 外側の調整ナット (E) を時計方向に回すとテンションが高くなり、反時計方向に回すとテンションが低くなります。
 - 内側の調整ナット (D) を完全に締めつけます。
- マンドレルカバーを 2 つのマンドレルハウジングに取り付け、留め具で固定します。

アンチスカンプローラーの調整

アンチスカンプローラーは、カッティングデッキを地面に対して正しい位置に保ち、ほとんどの地形条

件で芝生表面のはぎ取りを防止します。カッティングデッキが必要な刈高に設定されている際に、アンチスカンプローラーが地面から少し離れている場合は、正しく調整されています。

- 本製品を平らな面に停めて、エンジンを停止します。
- 本製品を必要な刈高に調整します。参照：刈高の設定方法 13 ページ。
- ナット、ボルト、ワッシャー、アンチスカンプローラーを取り外します。

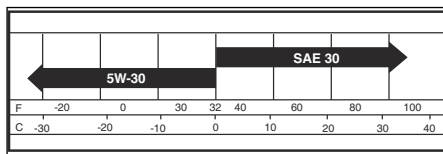


- アンチスカンプローラー、ボルト、ワッシャー、ナットを正しい位置に取り付けます。
- すべてのアンチスカンプローラーを調整し、同じ手順で取り付けます。

エンジン

エンジンの潤滑方法

API サービス分類 SJ-SN に準拠した高品質清浄油のみを使用してください。オイルの SAE 粘度等級については、適切な運転温度を参照してください。



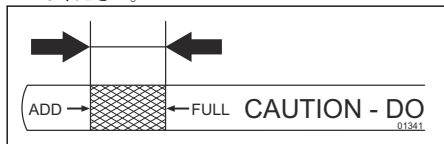
注記： マルチ粘度オイル (5W30、10W30 など) により、寒冷時にエンジンの始動性が向上しますが、32°F/0°C を超える周囲温度で使用すると、オイルの消費量が増加します。低オイルレベルによるエンジンの損傷を防ぐため、頻繁にエンジンオイルレベルを点検してください。

- 50 運転時間ごとにオイルを交換します。本製品を 1 年に 50 時間使用しない場合は、年に 1 回以上、オイルを交換してください。
- エンジンの始動前および 8 運転時間ごとにクランクケースのオイルレベルを点検してください。
- オイルレベルの点検ごとに、オイルフィラーキャップ/オイルレベルゲージを締めつけます。

エンジンオイルの油面の点検

本製品のエンジンには、周囲温度が 32°F (0°C) を超える場合に適したエンジンオイルが充填されています。周囲温度が 32°F (0°C) 未満の場合は、本製品の始動性を向上させる適切なエンジンオイルを使用してください。参照: エンジンの潤滑方法 27 ページ。

1. 本製品を平坦な地面に駐車します。
2. オイルフィルターキャップとオイルレベルゲージを取り外し、布で清掃します。
3. オイルレベルゲージをオイルフィルターチューブに挿入します。オイルフィルターキャップをオイルフィルターチューブに装着しないでください。
4. オイルレベルゲージを外します。オイルレベルゲージのゲージを使用して、エンジンオイルレベルを点検します。必要に応じて、オイルレベルゲージの「FULL」の目盛りまでエンジンオイルを充填します。エンジンオイルを充填しすぎないでください。



5. オイルレベルゲージをオイルフィルターチューブに挿入します。オイルフィルターキャップが完全に締めつけられていることを確認します。

注記: エンジンオイルを交換するには、「エンジンオイルを交換するには 28 ページ」を参照してください。

エンジンオイルを交換するには

注記: オイルはすべて、API サービス分類 SJ-SN を満たしている必要があります。

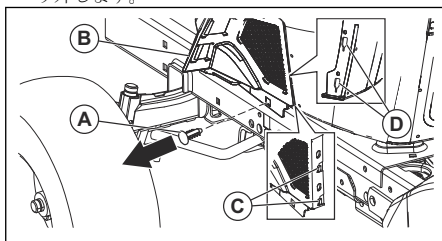
注記: エンジンが暖機されると、オイルの排出が容易になります。

エンジンオイルを交換する前に、本製品が平坦な場所にあることを確認します。オイル交換前に、許容温度範囲を設定します。

適切な容器にオイルを回収します。

1. フードを持ち上げます。

2. 下部のダッシュカバー (B) から留め具 (A) を取り外します。



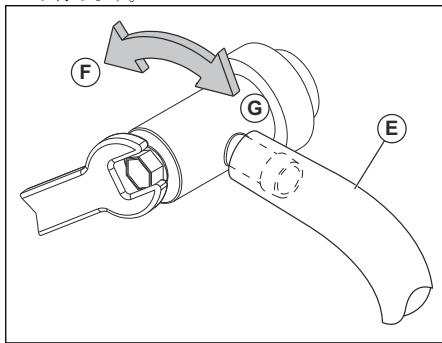
注意: 下部のダッシュカバー (A) を慎重に取り外し、カバーのタブ (C) が破損していないことを確認します。

3. 下部のダッシュカバー (B) を動かし、カバータブ (C) を下部のダッシュカバー (B) のテーパースロット (D) から外して、取り外します。
4. オイルフィルターキャップとオイルレベルゲージを取り外します。



注意: オイル交換時に、エンジンに汚れが侵入しないよう注意してください。

5. ドレンチューブ (E) をオールドレンバルブに取り付けます。



6. 10 mm レンチを使用してバルブを反時計方向に回し、オールドレンバルブ (F) を開きます。
7. オイルが排出されたら、ドレンバルブ (G) を時計方向に回して閉じます。



注記: 10 mm レンチを使用して、低いトルクをかけてドレンバルブを閉じます。締めつけすぎないでください。

8. ドレンチューブ (E) を取り外して保管します。
9. オイルレベルゲージチューブを使用して、エンジンに新しいオイルを充填します。



注記: ゆっくりとエンジンにオイルを注入してください。エンジンにオイルを充填しすぎないでください。

いでください。おおよその容量については、「主要諸元 37 ページ」を参照してください。

10. オイルレベルゲージのゲージを使用して、オイルレベルを点検します。
 - a) オイルレベルゲージをチューブに挿入して、オイルフィルターキャップがチューブ上部に接触するようにします。
 - b) オイルレベルを点検する際は、キャップをチューブに締めつけないでください。
 - c) オイルがオイルレベルゲージの「FULL」ラインまで充填されていることを確認します。
 - d) 点検が完了したら、キャップをチューブにしっかりと締めつけます。

エンジンオイルフィルターの交換



警告： 保護グローブを着用してください。エンジンオイルが身体にかかった場合は、石鹸と水で洗ってください。

1. オイルタンクからエンジンオイルを抜きます。
参照： エンジンオイルを交換するには 28 ページ。
2. エンジンオイルフィルターを反時計方向に回して取り外します。
3. 新しいオイルフィルターのゴム製シールを、新しいエンジンオイルで軽く潤滑しておきます。
4. 新しいオイルフィルターを取り付けるには、ゴム製シールが適切に収まるまで時計方向に回し、さらに半回転締めつけます。
5. オイルタンクに新しいエンジンオイルを充填します。
参照： エンジンオイルを交換するには 28 ページ。
6. エンジンを始動して、3 分間アイドリング速度で運転します。
7. エンジンを停止して、オイルフィルターからオイル漏れがないことを確認します。

注記： オイル漏れがある場合は、オイルフィルターを再度締めつけます。

8. 新しいオイルフィルターに吸収されたエンジンオイルを補充するために、オイルタンクにさらにエンジンオイルを注入します。

エアフィルターの清掃方法

汚れたエアフィルターを使用すると、エンジンは十分に作動しません。埃の多い条件下では、より頻繁にエアフィルターを清掃してください。

風よけの清掃

注記： オーバーヒートによるエンジンの損傷を防ぐため、風よけは汚れがないように保つ必要があります。

- ワイヤブラシまたは圧縮空気を使用して風よけを清掃し、汚れを取り除きます。

エンジン冷却システムのメンテナンス

注記： グラススクリーンの詰まり、冷却フィンの汚れまたは詰まり、ブロワーハウジングの取り外しなどにより、エンジンが高温になりすぎて損傷するおそれがあります。

- グラススクリーン、冷却フィン、エンジン外側表面に常に汚れがないことを確認します。
- 100 運転時間ごとに（極端に埃や汚れが多い条件ではより頻繁に）、ブロワーハウジングやエンジン冷却システムの部品などを取り外します。必要に応じて、冷却フィンと外表面を清掃します。エンジン冷却システムの部品が正しく取り付けられていることを確認します。

マフラーのメンテナンス

マフラーやスパークアレスタの腐食により、火災や損傷が発生するおそれがあります。

- マフラーとスパークアレスタ（装備されている場合）を点検し、必要に応じて交換します。

スパークプラグの交換

スパークプラグの種類とクリアランス（ギャップの設定）については、「主要諸元 37 ページに記載されています。

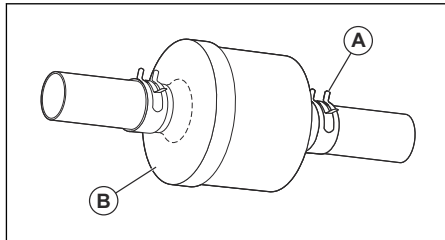
- 芝刈りシーズンの始まりごとに、または 100 運転時間ごとにスパークプラグを交換します。

インライン燃料フィルターの交換

注記： インライン燃料フィルターは年に 1 回以上、交換してください。

インラインフィルターが詰まってキャブレターへの燃料フローが停止した場合は、フィルターを交換します。

1. エンジンを冷却します。
2. インライン燃料フィルター (B) を取り外し、燃料ラインセクションをプラグで密閉します。
3. 新しいインライン燃料フィルターを、燃料ラインの所定の位置に配置し、矢印をキャブレターの方に向けます。
4. 燃料ラインに漏れがなく、クランプ (A) が正しい位置にあることを確認します。
5. こぼれた場合は、すぐに本製品を清掃します。



トランスミッションからのエア抜き



注意： エンジン作動中は、フリーホイールレバーの駆動を切り替えないでください。

高い性能を維持するため、初めて本製品を運転する前にトランスミッションのエア抜きをします。

トランスミッションの交換時も、本製品を運転する前に新しいトランスミッションのエア抜きをします。

- 1. 本製品を障害物のない開けた平坦な場所に駐車します。
- 2. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけます。
- 3. フリーホイールコントロールを解除位置にします。参照：本製品をフリーホイールモードにする方法 16 ページ。
- 4. エンジンを始動します。エンジンが始動したら、スロットルコントロールを低速位置に動かし、駐車ブレーキを解除します。

- 5. 次の手順を 3 回繰り返します。

注記： この手順の間に、駆動ホイールが動くことがあります。

- a) 前進ペダルを前進位置いっぱいまで踏み込み、5 秒間保持してからペダルを放します。
- b) 後退ペダルを後退位置いっぱいまで踏み込み、5 秒間保持してからペダルを放します。
- 6. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけます。
- 7. フリーホイールコントロールを作動位置にします。参照：本製品をフリーホイールモードにする方法 16 ページ。
- 8. シートに座り、エンジンを始動します。エンジンが始動したら、スロットルコントロールを半分の速度位置まで動かします。
- 9. 駐車ブレーキを解除します。
- 10. 本製品を約 5 フィート (1.5 m) 前進させた後、約 5 フィート (1.5 m) 後退させます。この手順を 3 回実行します。

トラブルシューティング

問題	原因	対応措置
エンジンが始動しない。	燃料タンクに燃料がありません。	燃料タンクを充填します。
	スロットルコントロールが正しい位置にありません。	始動方法を参照してください。
	スパークプラグに不具合があります。	スパークプラグを交換します。
	エアフィルターが汚れています。	エアフィルターを清掃または交換します。
	燃料フィルターが詰まっています。	燃料フィルターを交換します。
	燃料に水が入っています。	燃料タンクとキャブレターからすべての燃料を取り除きます。新しい燃料を燃料タンクに充填し、燃料フィルターを交換します。
	配線が緩んでいるか、損傷しています。	すべての配線を点検します。
	エンジンバルブが正しく調整されていません。	販売店にご相談ください。
	エンジンが浸水している。	2〜3 分待ってから、エンジンを再始動します。
	燃料タンク内の燃料が不良です。	燃料タンク内の燃料を交換します。

問題	原因	対応措置
セルモーターでエンジンがかからない。	バッテリーが弱すぎます。	バッテリーを充電してください。
	アタッチメントクラッチコントロールが作動している。	アタッチメントクラッチコントロールを解除します。
	クラッチ/ブレーキペダルが完全に踏み込まれていません。	エンジンを始動する際は、クラッチ/ブレーキペダルを完全に踏み込みます。
	バッテリー端子のケーブルコネクタが適切に接続されていません。	バッテリーの接続を点検します。
	メインヒューズに不具合があります。	メインヒューズを交換します。
	スタータスイッチに不具合があります。	販売店にご相談ください。
	クラッチ/ブレーキペダルの安全コネクタに不具合があります。	販売店にご相談ください。
	セルモーターまたはソレノイドに不具合があります。	販売店にご相談ください。
	オペレータ着座コントロール (OPC) に不具合があります。	配線、スイッチ、接続を点検します。これらに不具合がある場合は、認定サービス代理店にご相談ください。オペレータ着座コントロールに不具合がある場合は、本製品を使用しないでください。

問題	原因	対応措置
エンジンがスムーズに回らない。	スパークプラグに不具合があります。	スパークプラグを交換します。
	キャブレターが正しく調整されていません。	販売店にご相談ください。
	エアフィルターが汚れています。	エアフィルターを清掃または交換します。
	燃料タンクキャップのチェックバルブに不具合があります。	燃料タンクキャップを交換します。
	燃料タンクがほぼ空になっています。	燃料タンクに燃料を充填します。
	燃料に水が入っています。	燃料タンクとキャブレターからすべての燃料を取り除きます。新しい燃料を燃料タンクに充填し、燃料フィルターを交換します。
	チョークが作動し、エンジンが暖められている。	チョークを解除します。
	燃料の混合または燃料の種類が不適切です。	燃料タンクとキャブレターからすべての燃料を取り除きます。燃料タンクに正しく混合された燃料または正しい種類の燃料を充填します。
	燃料フィルターが詰まっています。	燃料フィルターを交換します。
	スパークプラグに不具合があります。	スパークプラグを交換します。
	キャブレターまたは燃料ラインに異物があります。	キャブレターと燃料ラインを清掃します。
エンジンが過熱しています。	エンジンに過負荷がかかっている。	負荷を下げます。
	エンジンのエアインテークまたは冷却フィンが詰まっています。	エンジンのエアインテークと冷却フィンを清掃します。
	冷却ファンに不具合があります。	販売店にご相談ください。
	エンジンオイルレベルが低すぎます。	エンジンオイルの油面を点検します。必要に応じてエンジンオイルを補充します。
	スタータスイッチに不具合があります。	販売店にご相談ください。
	スパークプラグに不具合があります。	スパークプラグを交換します。

問題	原因	対応措置
出力が不足している。	芝を刈るときに、本製品を前進または後退させるスピードが速すぎます。	低速で使用してください。
	スロットルコントロールがチョーク位置にあります。	スロットルコントロールを高速位置にします。
	カッティングデッキの下に芝、葉、異物が堆積しています。	カッティングデッキを清掃します。
	エアフィルターが汚れています。	エアフィルターを清掃または交換します。
	エンジンオイルレベルが低すぎます。	エンジンオイルの油面を点検します。必要に応じてエンジンオイルを補充します。
	エンジンオイルが汚れています。	エンジンオイルを交換します。
	スパークプラグに不具合があります。	スパークプラグを交換します。
	燃料フィルターが汚れています。	燃料フィルターを交換します。
	燃料タンク内の燃料が不良です。	燃料タンク内の燃料を交換します。
	燃料に水が入っています。	燃料タンクとキャブレターからすべての燃料を取り除きます。新しい燃料を燃料タンクに充填し、燃料フィルターを交換します。
	スパークプラグワイヤーが緩んでいます。	スパークプラグワイヤーを接続し、締めつけます。
	エンジンのエアインテークまたは冷却フィンが詰まっています。	エンジンのエアインテークと冷却フィンを清掃します。
	マフラーが詰まっているか、損傷しています。	マフラーを掃除、または交換します。
	配線が緩んでいるか、損傷しています。	すべての配線を点検します。
	エンジンバルブが正しく調整されていません。	販売店にご相談ください。
本製品が振動する。	ブレードの固定に緩みがあります。	ブレードのボルトを締めつけます。
	1つ以上のブレードが損傷しているか、バランスが取れていません。	ブレードのバランスを取るか、ブレードを交換します。
	エンジンに緩みがあります。	エンジンのボルトを締めつけます。
バッテリーが充電されていません。	メインヒューズに不具合があります。	メインヒューズを交換します。
	バッテリーに不具合があります。	バッテリーを交換します。
	充電ケーブルが接続されていません。	充電ケーブルを接続します。
	バッテリー端子のケーブルコネクタが適切に接続されていません。	バッテリーの接続を点検します。

問題	原因	対応措置
カッティングデッキ作動中にオペレータが座席を離れても、エンジンが作動している。	オペレータ着座コントロール (OPC) に不具合があります。	配線、スイッチ、接続を点検します。これらに不具合がある場合は、認定サービス代理店にご相談ください。オペレータ着座コントロールに不具合がある場合は、本製品を使用しないでください。
ブレードが回転しない。	クラッチメカニズムに詰まりがあります。	詰まりを取り除きます。
	カッティングデッキのドライブベルトが摩耗または損傷しています。	カッティングデッキのドライブベルトを交換します。
	アイドラブローリーが凍結しています。	アイドラブローリーを交換します。
	ブレードマンドレルが凍結しています。	ブレードマンドレルを交換します。
芝の排出に不具合がある。	エンジン速度が遅すぎます。	スロットルコントロールを高速位置にします。
	本製品を前進または後退させるスピードが速すぎます。	低速で使用してください。
	芝が濡れています。	芝を刈る前に乾燥させます。
	カッティングデッキが平行になっていません。	カッティングデッキの平行性の調整方法参照：カッティングデッキの平行性の調整 25 ページ。
	タイヤの空気圧が不適切です。	タイヤの空気圧を点検します。必要に応じてタイヤの空気圧を調整します。
	ブレードに摩耗、損傷、緩みがあります。	ブレードを交換するか、ブレードのボルトを締めつけます。
	カッティングデッキの下に草や泥が堆積しています。	カッティングデッキを清掃します。
	カッティングデッキのドライブベルトが摩耗または損傷しています。	カッティングデッキのドライブベルトを交換します。
	ブレードが正しく取り付けられていません。	鋭利な角を下にしてブレードを取り付けます。
	不適切なブレードが使用されています。	パーツマニュアルに記載されている適切なブレードに交換します。
	芝の堆積やマンドレル周辺の汚れにより、カッティングデッキの通気口が詰まっています。	マンドレル周辺を清掃して、通気口の詰まりを解消します。
ヘッドライトが点灯しない。	ヘッドライトスイッチが「OFF」位置にあります。	ヘッドライトスイッチを「ON」位置に回します。
	電球に不具合があります。	電球を交換します。
	ヘッドライトの電源スイッチが故障しています。	ヘッドライトの電源スイッチを交換します。
	ヘッドライトへのケーブルが接続されていません。	配線と接続の状態を点検します。
	ヘッドライトケーブルに短絡があります。	販売店にご相談ください。

問題	原因	対応措置
本製品の動作が遅い、速度が不規則になる、まったく動作しない。	本製品がフリーホイールモードになっています。	フリーホイールコントロールレバーを引き出します。参照： 本製品をフリーホイールモードにする方法 16 ページ。
	駐車ブレーキがかかっています。	駐車ブレーキを解除します。
	ドライブベルトが緩んでいるか、損傷しています。	ドライブベルトを交換します。
	トランスミッションにエアが入っています。	トランスミッションのエア抜きをします。参照： トランスミッションからのエア抜き 30 ページ。
	ステアリングプレート（装備されている場合）に異物があります。	製品を清掃します。
	アクスルの四角計のキーが欠如しています。	四角計のキーを取り付けます。参照： タイヤの修理 20 ページ。
満足な芝刈結果が得られない。	ブレードが鈍くなっているか、損傷しています。	ブレードの目立てを行うか、ブレードを交換します。
	カッティングデッキが平行になっていません。	カッティングデッキの平行性の調整方法参照： カッティングデッキの平行性の調整 25 ページ。
	芝が濡れています。	芝を刈る前に乾燥させます。
	芝が長すぎます。	高い刈高から初めて、ゆっくりと下げていきます。
	タイヤの空気圧が不適切です。	タイヤの空気圧を点検します。必要に応じてタイヤの空気圧を調整します。
	本製品を前進または後退させるスピードが速すぎます。	低速で使用してください。
	カッティングデッキのドライブベルトが摩耗または損傷しています。	カッティングデッキのドライブベルトを交換します。
エンジンが停止すると、バックフアイヤーが発生する。	スロットルコントロールが低速位置にありません。	参照： 本製品の停止方法 14 ページ。
後退しようとする、エンジンが停止する。	後退操作システム（ROS）が作動していません。	後退操作システム（ROS）を作動させます。参照： 後退操作システム（ROS）の使用方法 15 ページ。

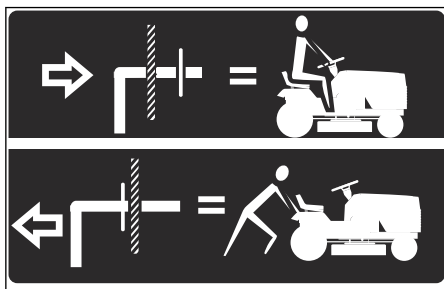
搬送、保管、廃棄

搬送

注記： 損傷を防ぐため、搬送中はフードを閉じて本製品に固定してください。適切な工具（ロープ、コードなど）を使用して、フードを本製品に固定します。

本製品を移動する際は、フリーホイールコントロールをフリーホイール位置にしてトランスミッション

を解除します。フリーホイールコントロールは、本製品のリヤドロバーにあります。



1. アタッチメントリフトコントロールを使用して、アタッチメントを最高位置まで持ち上げます。
2. フリーホイールコントロールを引き出し、スロットに入れて離すと、解除位置に保持されます。

3. 時速 2 mph (3.2 km) を超える速度で本製品を移動しないでください。
4. トランスミッションを再度作動させるには、上記の手順を逆に行います。

けん引の安全性

- ハスクバーナで承認されているけん引装置を必ず使用してください。
- 装置の取り付けには、けん引バーを使用してください。
- 最大許容重量より重い装置はけん引しないでください。
- 装置をけん引する際は、製品の近くに人がいないことを確認してください。
- 斜面や荒れた地面では、装置をけん引しないでください。
- 装置をけん引する際は、製品を低速で運転してください。

保管

シーズンの終わりに、本製品を保管する 30 日以上前に保管の準備をします。燃料タンク内に 30 日以上燃料を入れたままにしておくと、粘りのある粒子がキャブレターを塞ぐおそれがあります。これにより、エンジン機能に悪影響が発生します。

保管中に粘りのある粒子が発生するのを抑えるために、安定剤を追加します。アルキレートガソリンを使用している場合は、安定剤は不要です。標準ガソリンを使用している場合は、アルキレートガソリンに変更しないでください。変更すると、繊細なゴム部品が硬化する可能性があります。タンク内、または保管用容器内の燃料に安定剤を追加してください。メーカーが指定した混合比を常に守ってください。安定剤を追加したら、安定剤がキャブレターに流入するまで、最低 10 分間エンジンを回します。

ください。保管前に本製品を冷ましてください。

- 製品の清掃 19 ページを参照して、製品を清掃します。錆の発生を防ぐために、塗装部のはげを修復します。
- 摩耗した部品や破損した部品がないか本製品を点検して、緩んだネジやナットを締め込みます。
- バッテリーを外します。バッテリーを清掃して充電し、涼しい場所で保管します。
- エンジンオイルを交換して、廃油を適切に処分します。
- 燃料タンクを空にします。エンジンを始動して、キャブレターに燃料がなくなるまで回します。



警告： 屋内または換気の悪い場所に本製品を保管する場合は、タンク内に燃料を入れたままにしないでください。気化した燃料が、裸火、火花、または（ボイラー、温水タンク、衣類乾燥機などの）種火に近づく、火災発生の危険があります。



警告： 芝、葉、その他可燃物を本製品から除去し、火災発生の危険を抑制して

注記： 安定剤を追加した場合、燃料タンクとキャブレターを空にしないでください。

- ブラグを取り外して、スプーン約 1 杯のエンジンオイルを各シリンダーに注油します。オイルが行き渡るように手動でエンジンシャフトを回し、ブラグを戻して取り付けます。
- すべてのグリースニップル、ジョイント、および軸に注油します。
- 本製品を清潔で乾燥した場所に保管し、さらに保護するためにカバーをかけておきます。
- 保管や搬送の際に本製品を保護するためのカバーは、最寄りの販売店で入手できます。

廃棄

- 化学薬品は危険であり、地中に廃棄しないでください。使用済み化学薬品は、必ずサービスセンターや適切な廃棄場所で廃棄するようにしてください。
- 本製品が損耗し、使用しなくなったら、販売店に送り返すか、適切なリサイクル場所へ送付してください。

- オイル、オイルフィルター、燃料、およびバッテリーは、環境に悪影響を与えることがあります。地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- バッテリーを家庭ゴミとして処分しないでください。

- バッテリーは、ハスクバーナサービス代理店に送付するか、使用済みバッテリーの廃棄場所に廃棄してください。

主要諸元

主要諸元

	TS 248TXD
エンジン	
エンジンのブランド	KAWA
エンジンのモデル	FR691-DS15
公称エンジン出力、hp/kW ¹	23/17.2
最大エンジン速度、r/min	3,300 ± 100
エンジンアイドリング速度、r/min	1,750 ± 150
最大速度（前進）、mph / km/h	5.2/8.4
最大速度（後退）、mph / km/h	2.2/3.5
燃料、最低オクタン価、無鉛ガソリン、最大 10 % エタノールおよび最大 15 % MTBE、AKI/RON	87/91
燃料タンク容量、ガロン／リットル	4/15.14
32°F/0°C を超える場合のオイルの種類（API：SJ-SN）：	SAE 30
32°F/0°C 未満の場合のオイルの種類（API：SJ-SN）：	SAE 5W30
オイル容量（オイルフィルター付き）、オンス／リットル	64/1.89
オイル容量（オイルフィルターなし）、オンス／リットル	58/1.71
潤滑システム	圧力（オイルフィルター付き）
冷却システム	空冷式
エアフィルター	デュアル
オルタネータの電圧と電流（3600 r/min 時）	12 V 15 A（3,600 r/min）
セルモーター	電動セル（12 V）
質量	
重量（燃料タンクが空の場合）、lb/kg	594/269
カッティングデッキ	
ブレードの数	3
ブレード長さ、インチ／cm	16.5/41.81
刈幅、インチ／cm	48/122

¹ エンジンメーカーが公表している出力定格は、エンジンの総出力に関する SAE 基準を使用して測定したエンジンモデルの、一般生産エンジンにおける指定 r/min 時の平均総出力です。エンジンメーカーのエンジン仕様を参照してください。

	TS 248TXD
刈高、インチ／cm	1.5～3.8/3.8～10.2
タイヤ	
タイヤ空気圧、リヤ－フロント、psi/kpa/bar	15/103/1
フロントタイヤ、インチ	16 x 6.8-8
リヤタイヤ、ターフ空圧式、インチ	20 x 10-8
ブレーキ	機械式駐車ブレーキ
電気系統	
型式	12 V
バッテリー	28 A
スパークプラグ	BPR4ES
電極間隔、インチ／mm	0.030/0.76
スパークプラグトルク、lb-ft/Nm	16/22

サービス

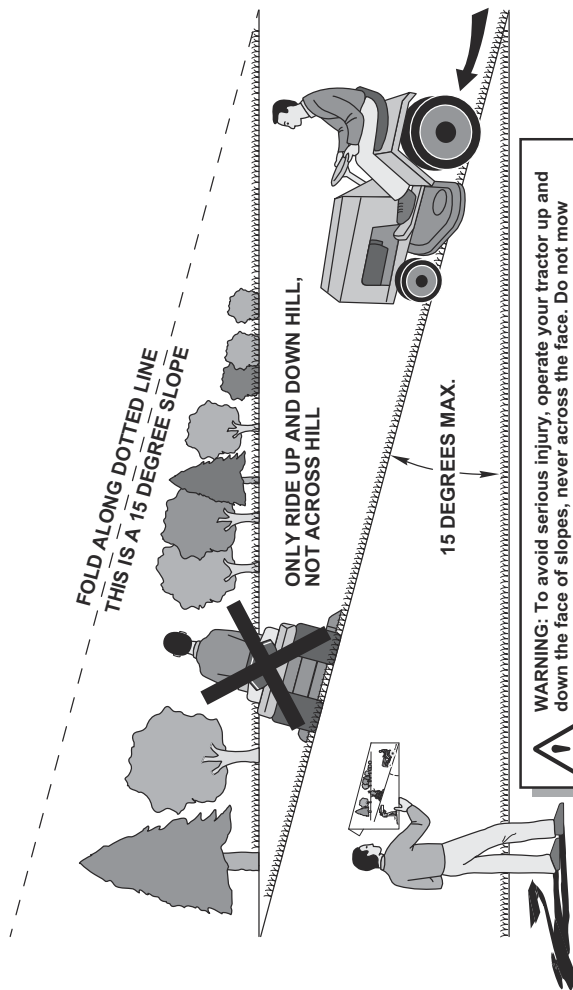
サービス。

毎年認定サービスセンターで点検を受け、本製品が安全に機能し、繁忙期に最高のパフォーマンスを発揮するよう調整を依頼してください。本製品のメンテナンスやオーバーホールを実施するのに最適な時期は閑散期です。

スペアパーツの発注をする際は、購入年、機種、タイプ、製造番号を明記してください。

常に、純正のスペアパーツを使用してください。

SUGGESTED GUIDE FOR SIGHTING SLOPES FOR SAFE OPERATION



1. Fold this page along dotted line indicated above.
2. Hold page before you so that its left edge is vertically parallel to a tree trunk or other upright structure.
3. Sight across the fold in the direction of hill slope you want to measure.
4. Compare the angle of the fold with the slope of the hill.



Husqvarna®

www.husqvarna.com

取扱説明書原本

1142300-79



2022-11-09